SONY

4-095-173-11 (1)

LCD WEGA

液晶カラーテレビ取扱説明書

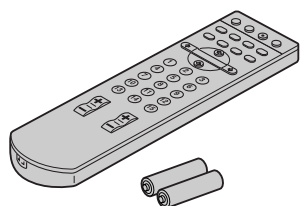
KLV-21SR2

お買い上げいただきありがとうございます。

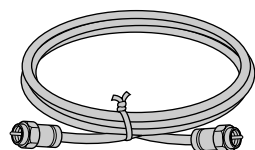
⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

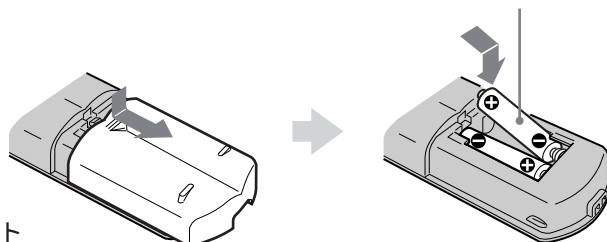
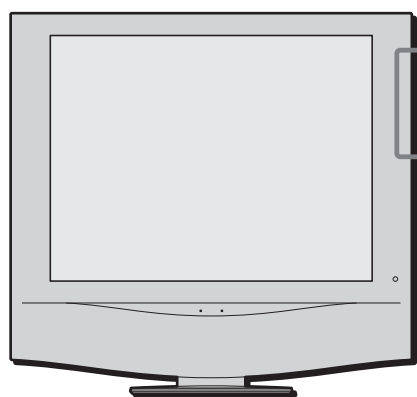
付属品を確かめる

リモコン（1個）と単4型乾電池（2個）

電源コード（1本）

アンテナ変換アダプター（1個）

アンテナ接続ケーブル（1本）

取扱説明書
安全のために/安全点検チェックリスト
ソニーご相談窓口のご案内
保証書
（各1部）

リモコンに電池を入れるには

必ずイラストのように⊖極側から電池を入れてください。無理に入れたり逆に入れたりすると、ショートの原因になり、発熱することがあります。

本体操作ボタン

電源

電源スイッチ
☞4ページ

＋
チャンネル
－

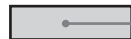
チャンネル＋*/ーボタン
☞4ページ

＋
音量
－

音量＋/ーボタン
☞4ページ

入力切換

入力切換ボタン
☞12ページ

開く →

リモコン操作ボタン

画面表示ボタン
☞4ページ
チャンネル表示を入/切する。

二重音声ボタン*
☞19ページ
二重音声放送時に、聞きたい音声を選ぶ。

消音ボタン
☞4ページ
音を一時的に消す。

電源ボタン
☞4ページ
本体の電源を入/切する。

メモボタン
☞11ページ
メモしたい場面で、画面を静止させる。

入力切換用ボタン
☞12ページ
ビデオボタン
コンポーネントボタン
AVマルチボタン
各種入力を切り換える。

明るさ設定ボタン
☞6ページ
映像の種類や部屋の明るさにあった映像を選ぶ。

メニューボタン
☞7ページ
画音質など各種設定をする。

消費電力ボタン
☞8ページ
節電モードに切り換える。

オフタイマーボタン
☞20ページ
自動で電源を切る時間を設定する。

↑/↓/←/→/決定ボタン
☞7ページ
メニュー上で項目を選ぶ際に使用する。

チャンネル数字ボタン*
☞4ページ
ダイレクトにチャンネルを選ぶ。

音量+/−ボタン
☞4ページ
音量を調節する。

チャンネル+/−ボタン*
☞4ページ
チャンネルを選ぶ。

操作の内容を説明したページをご覧になるときは、「リモコン操作ボタン」（☞2-2ページ）のページを開いたままにして、ボタンの位置などを確認しながら本機を操作すると便利です。

ちょっと一言

* 二重音声ボタンとチャンネル数字の「5」ボタンおよびチャンネル+ボタンには、凸点（突起）が付いています。操作の目印として、お使いください。

目次

見る

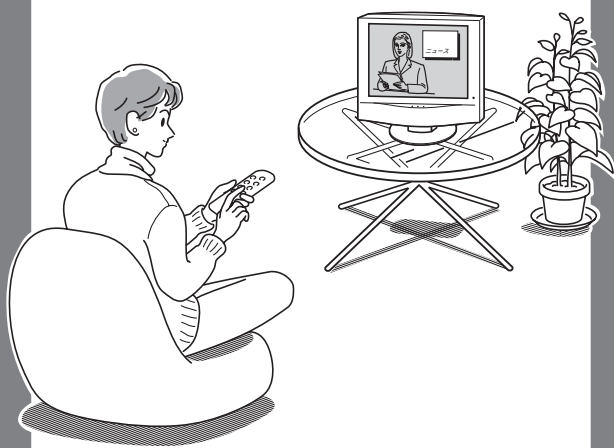
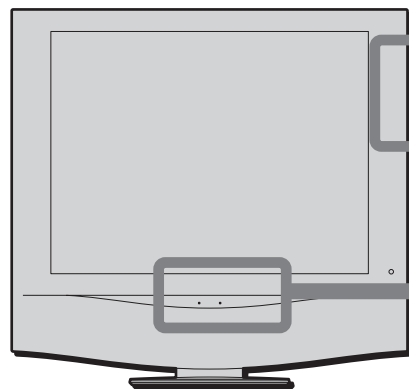
調整する／設定する

テレビの接続と準備

他機との接続

その他

見る

ここでは、通常のテレビをはじめ、ビデオやDVDなどテレビにつないだ機器の映像を見るときの操作を説明しています。
映像に合った画質/音質に設定したり、節電しながら見たりするなど、多彩な機能の操作も説明しています。

テレビを見る

消音ボタン
一時的に音を消すときに押します。
もう1度押すか、音量＋ボタンを押すと音が出ます。

画面表示ボタン
チャンネル表示を出すときに押します。
もう1度押すと表示は消えます。

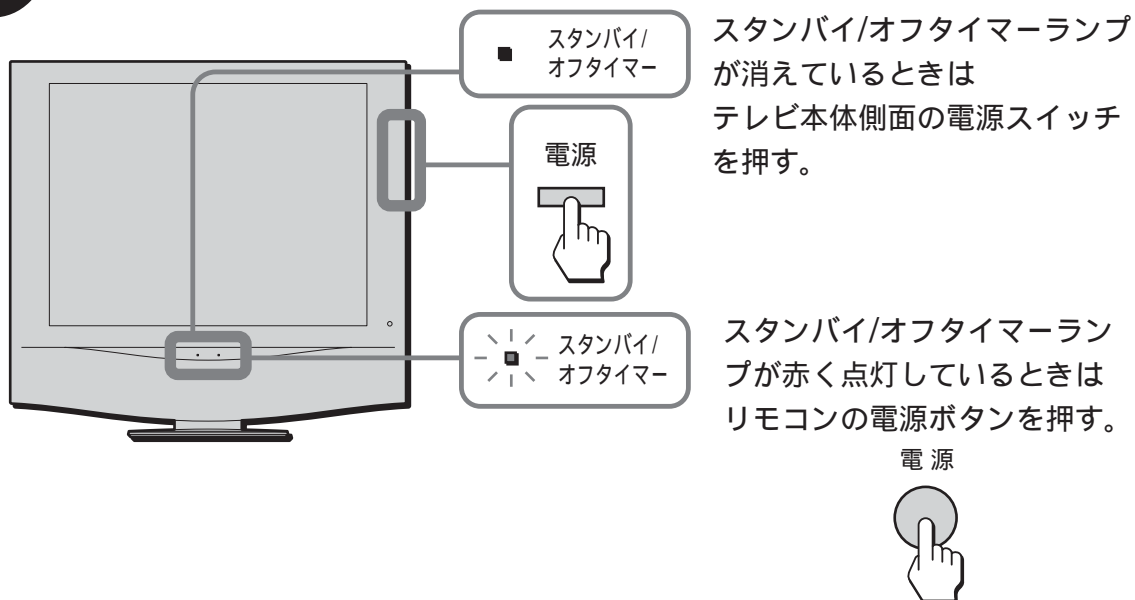
ちょっと一言

- スタンバイ/オフタイマーランプが点灯しているときは、リモコンのチャンネル数字ボタンやチャンネル＋/－ボタンを押すと自動的にテレビの電源も入ります（チャンネルポン機能）。
- 省電力のため、放送が終了して（または放送のないチャンネルにしたまま）約10分過ぎると、「まもなく電源が切れます」と表示されて自動的にスタンバイモードになります。

1 テレビの電源を入れる。

スタンバイ/オフタイマーランプが消えているときは
テレビ本体側面の電源スイッチを押す。

スタンバイ/オフタイマーランプが赤く点灯しているときは
リモコンの電源ボタンを押す。

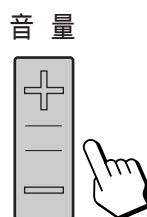
電 源

2 チャンネル数字ボタンでチャンネルを選ぶ。

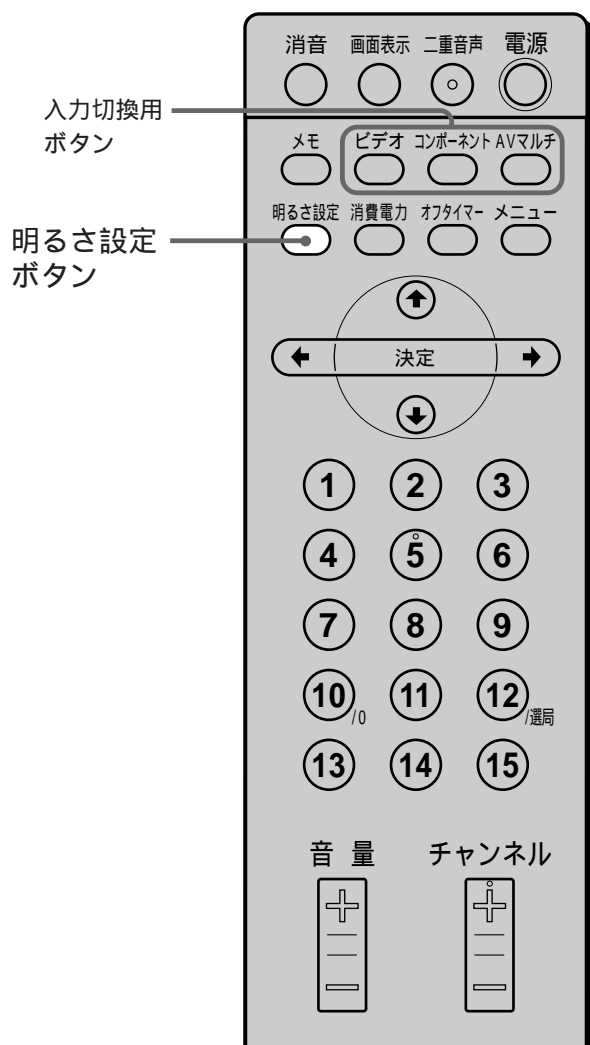
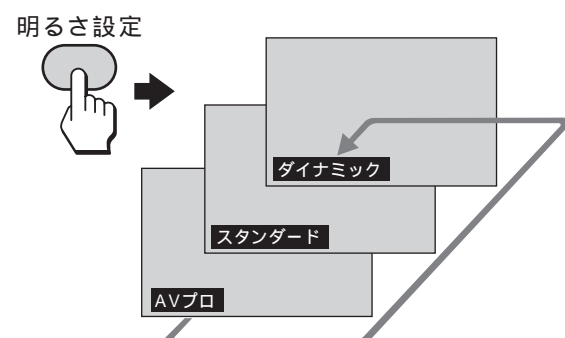
チャンネル＋/－ボタンでもチャンネルを選べます。

3 音量＋/－ボタンで音量を調節する。

ちょっと一言

音量表示の上にある数値も調節の目安になります。

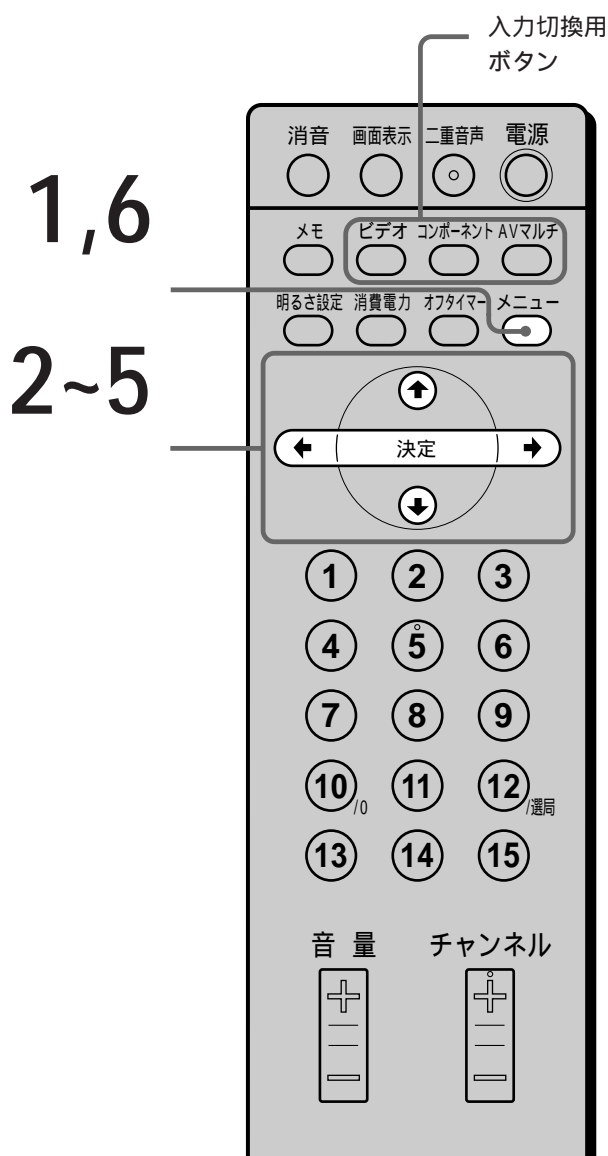
音 量

部屋の明るさにあった映像を選ぶ［明るさ設定ボタン］

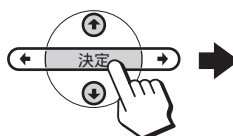
明るさ設定ボタンを押すだけで、映像の種類や部屋の明るさに合った映像を選べます。また、「AVプロ」を選ぶと、より細かく明るさを調整できます（☞15ページ）。
明るさ設定は、入力切換用ボタンで選べる各入力ごとに別々に設定できます。
ご家庭で通常ご覧になるときは、「スタンダード」を選ぶことをおすすめします。

明るさ設定ボタンをくり返し押す。
1回押すと、現在の明るさ設定が表示されます。その後、押すたびに、次のように切り換わります。

ダイナミック
映像の輪郭とコントラストを最大限に上げたメリハリの非常に強い映像になります。

スタンダード
ご家庭の様々な使用環境に適した、コントラスト感のある映像になります。

AV**プロ**
お好みの画質を自由に設定できます（☞15ページ）。

サラウンドを楽しむ

「(画質/音質)」メニューの「サラウンド」で映画やゲームに適した音質を選べます。
「サラウンド」は、入力切換用ボタンで選べる各入力ごとに別々に設定できます。

1 メニューボタンを押す。

2 ↑/↓で「(画質/音質)」を選び、決定ボタンを押す。

3 ↑/↓で「音質調整」を選び、決定ボタンを押す。

4 ↑/↓で「サラウンド」を選び、決定ボタンを押す。

5 ↑/↓で「SRS WOW」を選び、決定ボタンを押す。

6 メニューボタンを押して、メニューを消す。

次のページにつづく

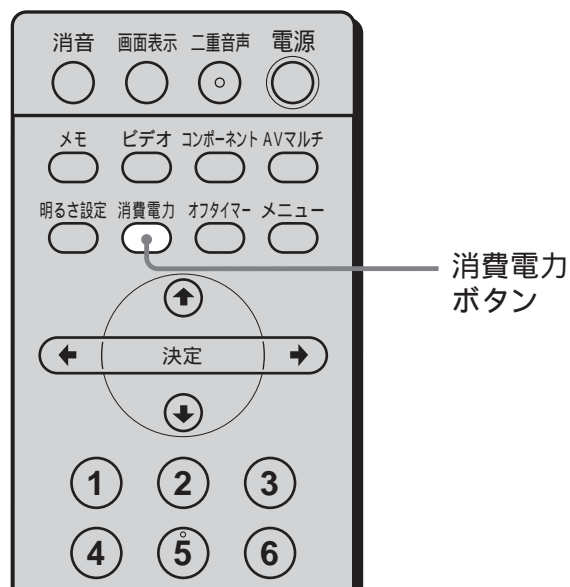
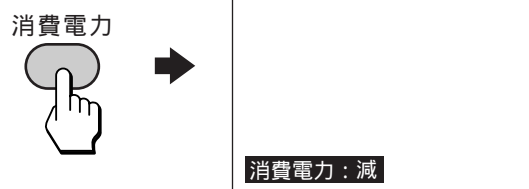
「SRS WOW」*

充分な低音とクリアな高音により豊かな臨場感が得られ、特に映画やゲームを迫力ある音で楽しめます。

* 「SRS WOW」は米国SRS Labsが独自に開発した最新技術を使うことにより、身の回りの多種多様な音響製品の音質を飛躍的に向上させます。
WOW, SRSと（●）記号はSRS Labs, Inc.の商標です。SRS WOW技術はSRS Labs, Inc.からのライセンスに基づき製品化されています。

ご注意

- ヘッドホンで聴くときは、SRS WOWは働きません。
- モノラル音声のときは、SRS WOWの効果が充分に得られないことがあります。

節電しながら見る
［消費電力ボタン］

消費電力ボタンを押す。

節電をやめるには

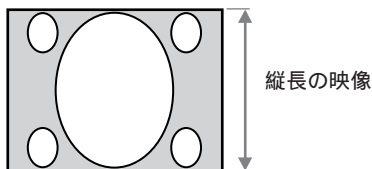
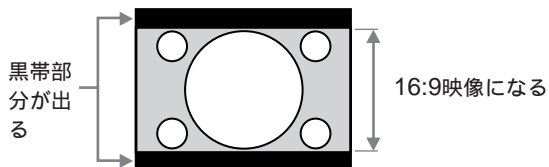
もう1度、消費電力ボタンを押す。
「消費電力:標準」と表示されます。

ちょっと一言

「消費電力:減」のときに電源を切ると、次に電源を入れたときも「消費電力:減」のままになります。

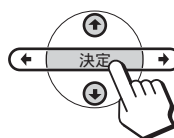
横長の画面にする
[ワイドモード]

BSデジタル放送やDVDプレーヤー、ビデオカメラなどの横縦比16:9映像を縦長に記録した映像を、16:9のワイド映像に戻して見ることができます。

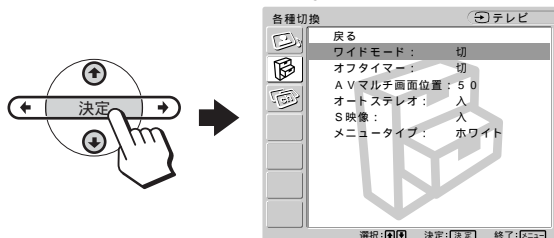
ワイドモード「切」のときの映像（16:9**映像を縦長にした映像）**

ワイドモードが働いているときの映像（16:9**映像）**

ご注意

ワイドモード機能を、喫茶店やホテル等で、営利目的、または公衆に視聴させる目的として使用すると、著作権法で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますのでご注意願います。

1 メニューボタンを押す。

2 ↑/↓で「(各種切換)」を選び、決定ボタンを押す。

次のページにつづく

横長の画面にする［ワイドモード］（つづき）

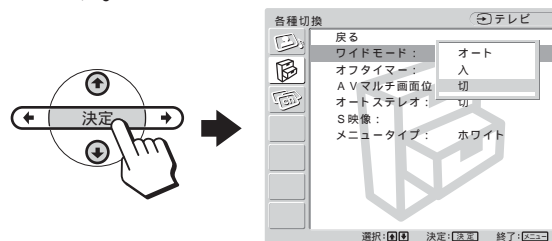
3 **↑/↓で「ワイドモード」を選び、決定ボタンを押す。**

4 **↑/↓で「オート」を選び、決定ボタンを押す。**

通常は、「オート」（お買い上げ時の設定）にしてください。
横縦比の信号（D2入力端子からの横縦比情報の入ったBSデジタル放送やID-1/S1方式）を、自動判別して縦方向を圧縮した横縦比16:9のワイド画面にし、それ以外の映像はオリジナルそのままに映します。正しく判別されるようにつないでください。

つなぐ機器の映像出力端子の種類	コードの種類
D2映像出力端子があるときは	D映像・音声コードでつなぐ（別売り：VMC-DD20CV*など）
S1映像出力端子があるときは	S映像・音声コードでつなぐ（別売り：YC-810S*など）
ビデオID-1システム対応の映像出力端子があるときは	映像・音声コードでつなぐ（別売り：VMC-810S*など）

上記のいずれでもないときは、「オート」で判別されずに、縦長の画像のまま表示されることがあります。その場合は、「ワイドモード：入」を選んでワイド画面にしてください。

「入」を選ぶと
すべての映像を縦方向に圧縮します。

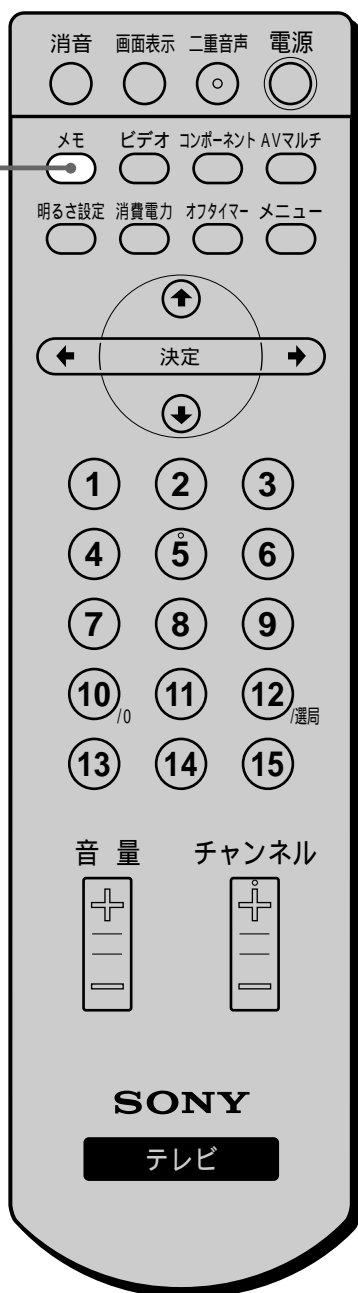
「切」を選ぶと
すべての映像をオリジナルそのままに映します。

5 **メニューボタンを押して、メニューを消す。**

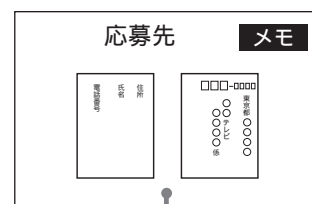
ワイドモードについてのご注意

- 通常のテレビ放送やBS放送など横縦比4:3の映像で、ワイドモードを「入」にすると、縦方向に圧縮されて不自然に見えます。
- ワイドクリアビジョン放送や上下に黒帯が入っている横長の映画などのワイド画像のときは、「オート」または「切」にしてください。
「入」を選ぶと、従来から入っていた黒帯の部分まで縦方向に圧縮されて、よりつぶれた映像になるためです。

* 2003年4月現在の別売りアクセサリーです。万一、品切れや生産完了のときはご容赦ください。

画面をメモする
[メモボタン]

視聴者プレゼントの応募先や料理の材料など、メモしたい場面を静止画で確認できます。

メモしたい場面で、メモボタンを押す。

画面が静止します。もう一度押すとメモした静止画は解除され、画面が動きます。

メモしたい画像
（静止画）

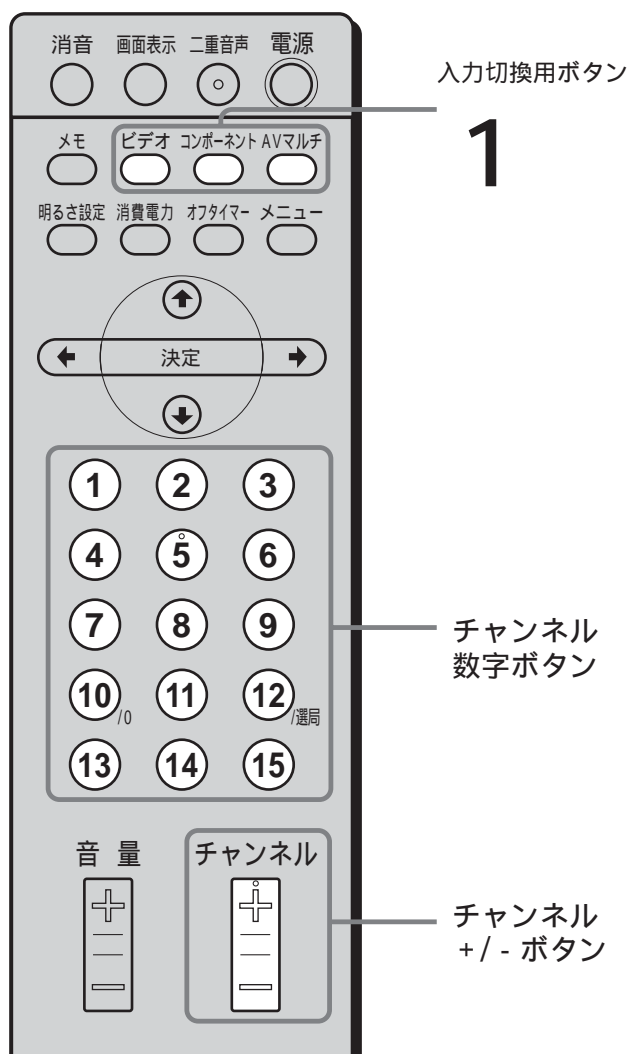
ちょっと一言

画面が静止している間、音声はそのまま流れます。

ご注意

入力切換用ボタンやチャンネル数字ボタンを押した場合には、メモした静止画は解除されます。

テレビにつないだ機器の画像を見る

入力を切り換えて、テレビにつないだビデオ機器やBSデジタルチューナー、デジタルCSチューナー、テレビゲームなどの画像を見ることができます。接続のしかたについては、☞33〜42ページをご覧ください。

ちょっと一言

テレビ本体の入力切換ボタンをくり返し押しても、入力を切り換えられます。

テレビ → ビデオ1 → ビデオ2 → コンポーネント1
↑　　　　　　　　　　　　　　　　　　↓
AVマルチ Y/CB/CR ← AVマルチ RGB ← コンポーネント2

1 入力切換用ボタンを押して、見たい画像を選ぶ。

各ボタンを押すたびに、それぞれの端子につないだ機器の画像に切り換わります。

押すたびに	以下につないだ機器の画像になります。	画面表示も変わります。
ビデオ	• ビデオ1入力端子 • ビデオ2入力端子	ビデオ1[*1] ↕ ビデオ2[*1]
コンポーネント	• コンポーネント1入力端子 • コンポーネント2入力端子	コンポーネント1（525i/525P[*2]） ↕ コンポーネント2（525i/525P[*2]）
AVマルチ	• AVマルチ入力端子 詳しくは、「AVマルチ入力端子につないだとき」（☞13ページ）をご覧ください。	AVマルチRGB ↕ AVマルチY/CB/CR

[*1] S1映像端子につなぎ、「（各種切換）」メニューの「S映像」を「入」にしているときは（☞35ページ）、「Sビデオ1」、「Sビデオ2」と表示されます。
[*2] 入力される信号の種類によって表示が異なります。

2 接続している機器を操作する。

詳しくは、各機器の取扱説明書をご覧ください。

テレビ画面に戻すときは

チャンネル数字ボタンまたはチャンネル+/−ボタンを押す。

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10/0 11 12/選局 13 14 15　または　チャンネル

ちょっと一言

チャンネル+/−ボタンを押すと最後に見ていたチャンネルになります。

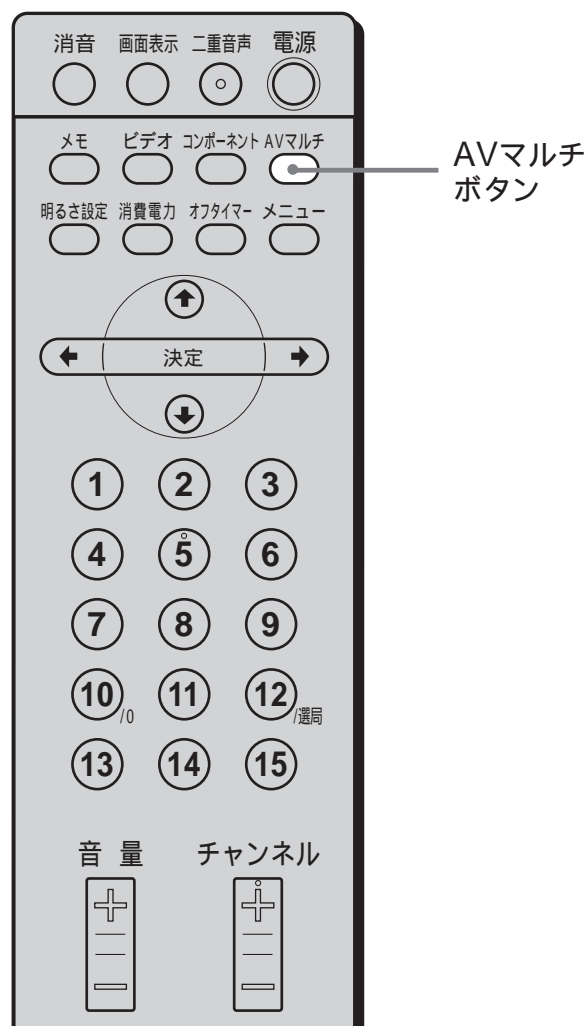
“プレイステーション 2”などを楽しむ

“プレイステーション 2”、
“プレイステーション”(PS one) および
“プレイステーション”の取扱説明書もあわせてお読みください。

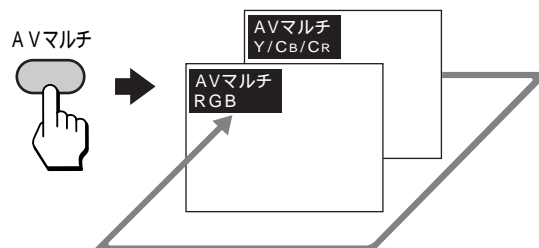
AVマルチ入力端子につないだとき（☞40ページ）

RGB接続またはY/CB/CR接続になり、高画質な映像でゲームを楽しめます。

ご注意

ソフトウェアによっては、AVマルチ入力端子のRGB接続またはY/CB/CR接続に適していないものもあります。

AVマルチボタン

AVマルチボタンをくり返し押す。

押すたびに、AVマルチ入力が、次のように切り換わります。

“プレイステーション 2”を使うには

AVマルチボタンをくり返し押して、“プレイステーション 2”の映像が出る入力（「AVマルチRGB」または「AVマルチY/CB/CR」）にする。

ご注意

下の表のように、“プレイステーション 2”側の設定にテレビ側のAVマルチ入力を合わせてください。
設定が異なっていると、映像が乱れたり、正しく表示されないことがあります。

“プレイステーション 2”側のシステム設定画面で「コンポーネント映像出力」が	テレビ側のAVマルチ入力を
「RGB」のときは、	「AVマルチRGB」にする。
「Y Cb/Pb Cr/Pr」のときは、	「AVマルチY/CB/CR」にする。

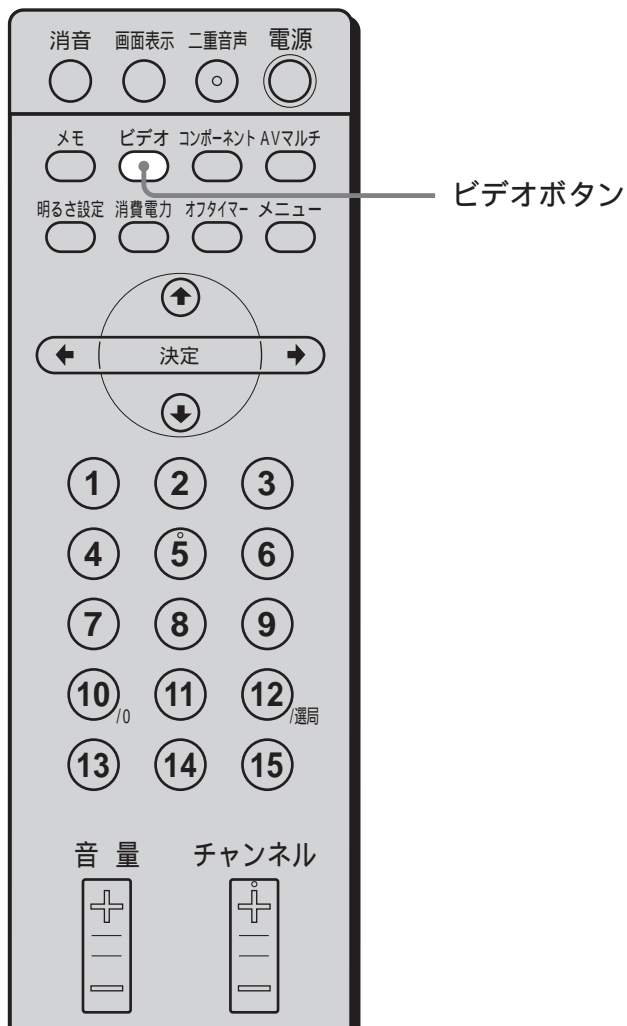
“プレイステーション”(PS one) および“プレイステーション”を使うには

AVマルチボタンをくり返し押して、「AVマルチRGB」を選ぶ。

ちょっと一言

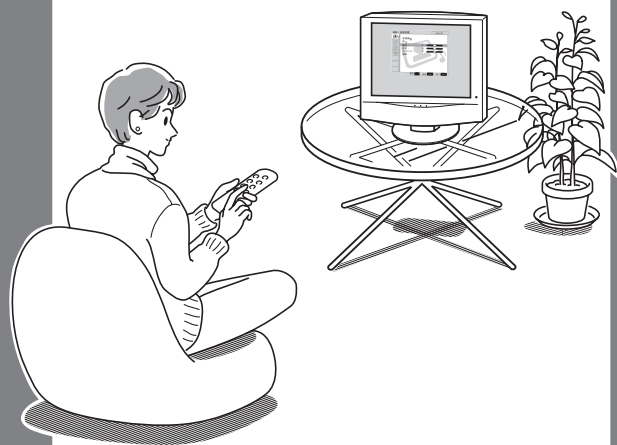
- AVマルチ入力端子は、ビデオ入力端子に比べて色の帯域が広くなっています。色あいが異なる場合がありますが、テレビに影響はありません。
- 電子的なライフルやガン（銃）などで標的にして楽しむシューティングゲームなどは、テレビの画面を使用できないことがあります。詳しくは、各ソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。

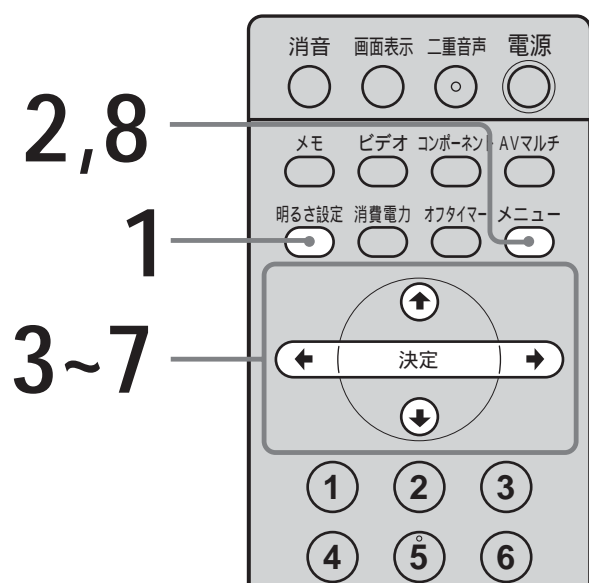
次のページにつづく

ビデオ入力端子につないだとき（☞41ページ）

ビデオボタンをくり返し押す。

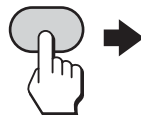
“プレイステーション2”、
“プレイステーション”（PS one）および
“プレイステーション”などの映像が出る入力（「ビデオ1」または「ビデオ2」のいずれか）にする。
詳しくは、☞12ページをご覧ください。

調整する/設定する

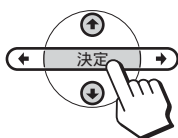
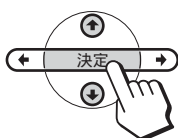
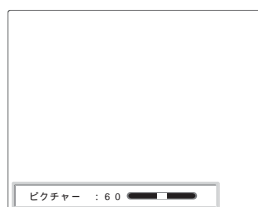
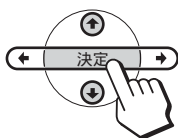
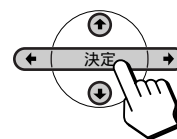
ここでは、画質や音質を調整する応用的な操作を説明しています。

より細かく画質を調整する

明るさ設定ボタンで「AVプロ」を選ぶと、画質をより細かく調整できます。
画質は、入力切換用ボタンで選べる各入力ごとに設定できます。

1 明るさ設定ボタンをくり返し押して、「AVプロ」を選ぶ。

ご注意
「ダイナミック」と「スタンダード」（☞6ページ）では、画質調整できません。

次のページにつづく

より細かく画質を調整する（つづき）

2 **メニューボタンを押す。**

3 **↑/↓で「(画質/音質)」を選び、決定ボタンを押す。**

4 **↑/↓で「画質調整」を選び、決定ボタンを押す。**

5 **↑/↓で調整したい項目を選び、決定ボタンを押す。**

6 **↑/↓/←/→で調整し、決定ボタンを押す。**

調整できる項目

項目	↓/←を押すと	↑/→を押すと
ピクチャー	明暗の差が小さくなる	明暗の差が大きくなる
明るさ	暗くなる	明るくなる
色の濃さ	薄くなる	濃くなる
色あい*（色あいの微調整ができます。）	赤みがかる	緑がかる
シャープネス	映像の輪郭が柔らかくなる	映像の輪郭がくっきりする
バックライト	画面が暗くなる	画面が明るくなる

* コンポーネント1入力、コンポーネント2入力およびAVマルチ入力では調整できません。

ちょっと一言

調整バーの横に表示される数値も調整の目安になります。

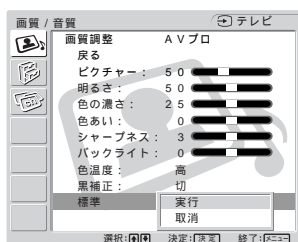
設定を選んで調整できる項目

項目	説明	選べる設定
色温度	「高」から「低」にしていくと赤みがかった暖かみのある色調になる。	高/中/低
黒補正	黒を強調してコントラストを強くする。	入/切

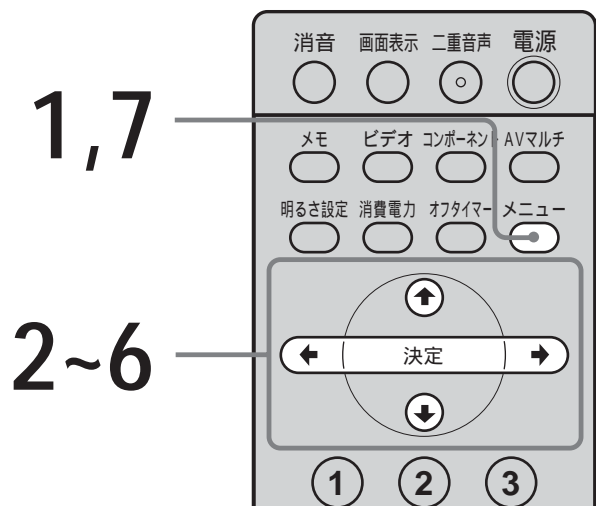
7 **他の項目を調整するときは、手順5と6をくり返す。**

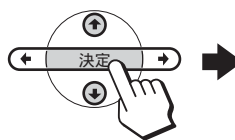
8 **メニューボタンを押して、メニューを消す。**

お買い上げ時の状態に戻すには

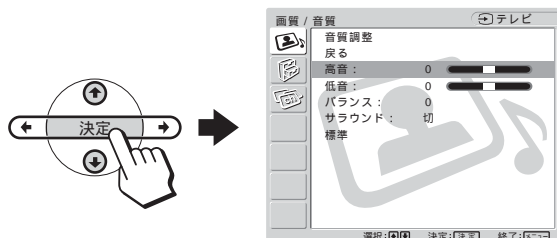
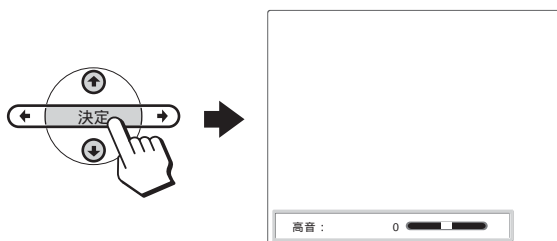
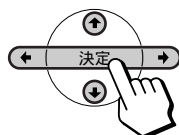
1 **手順5で「標準」を選び、決定ボタンを押す。**

2 **「実行」が選ばれていることを確認して、決定ボタンを押す。**

音質を調整する

音質は、入力切換用ボタンで選べる各入力ごとに設定できます。

1 **メニューボタンを押す。**

2 **↑/↓で「(画質/音質)」を選び、決定ボタンを押す。**

次のページにつづく

音質を調整する（つづき）

3 ↑/↓で「音質調整」を選び、決定ボタンを押す。

4 ↑/↓で調整したい項目を選び、決定ボタンを押す。

5 ↑/↓/←/→で調整し、決定ボタンを押す。

項目	↓/←を押すと	↑/→を押すと
高音	弱くなる	強くなる
低音	弱くなる	強くなる
バランス	左側の音が強くなる	右側の音が強くなる
サラウンド	☞7ページをご覧ください。	

ちょっと一言

調整バーの横に表示される数値も調整の目安になります。

6 他の項目を調整するときは、手順4と5をくり返す。

7 メニューボタンを押して、メニューを消す。

お買い上げ時の状態に戻すには

1 手順3で「標準」を選び、決定ボタンを押す。

2 「実行」が選ばれていることを確認して、決定ボタンを押す。

音声を切り換える ［二重音声ボタン］

二か国語放送など二重音声放送のときに、聞きたい音声を選べます。

二重音声ボタン

二重音声ボタンをくり返し押す。

押すたびに下表のように切り換わります。

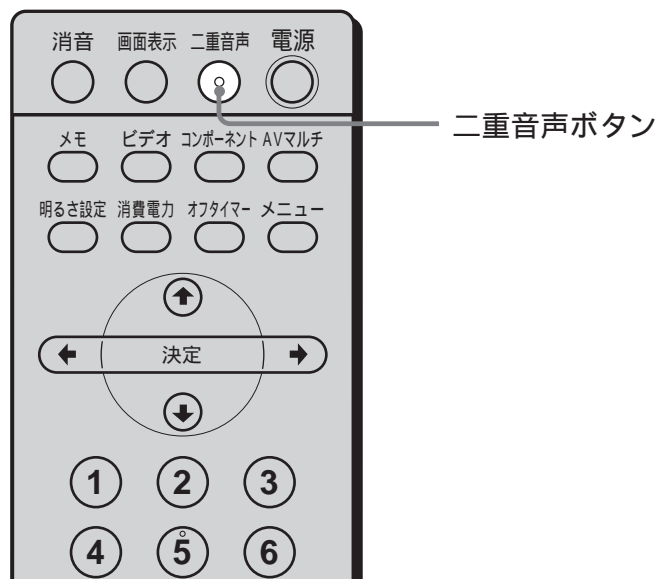
二重音声

画面表示	テレビの左スピーカーの音声	テレビの右スピーカーの音声
主	両方とも主音声	
副	両方とも副音声	
主/副	主音声	副音声

左側（主音声）

右側（副音声）

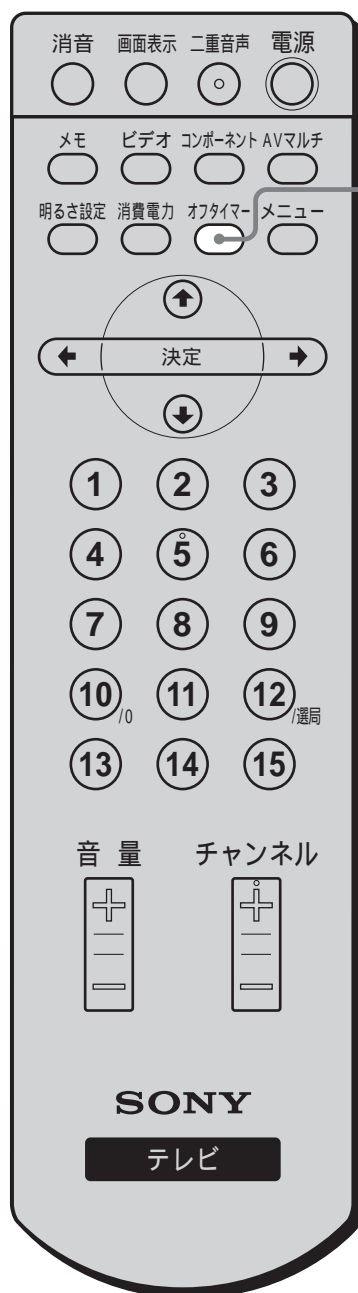
Good evening.

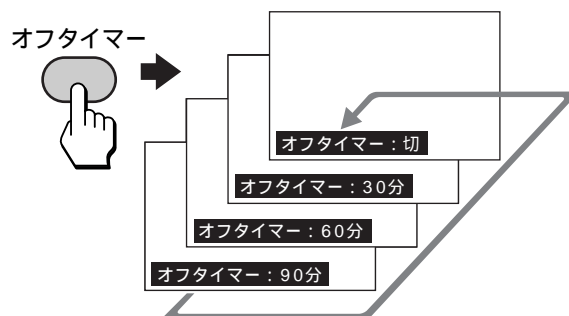
例:「主/副」を選んだとき

通常のテレビ（VHF/UHF）のステレオ放送で雑音が気になるときは

音声をモノラルにして、チャンネルごとに雑音を軽減できます。

1. **雑音の多いチャンネルを映した状態で、メニューボタンを押して、メニューを出す。**
2. **↑/↓で「 （各種切換）」を選び、決定ボタンを押す。**
3. **「オートステレオ」を選び、決定ボタンを押す。**
4. **↑/↓で「切」にして、決定ボタンを押す。**
5. **メニューボタンを押して、メニューを消す。**

自動で電源を切る ［オフタイマーボタン］

テレビをつけたまま寝てしまっても、設定した時間（30分、60分または90分）が過ぎると、自動的に電源が切れます。

オフタイマーボタンをくり返し押す。

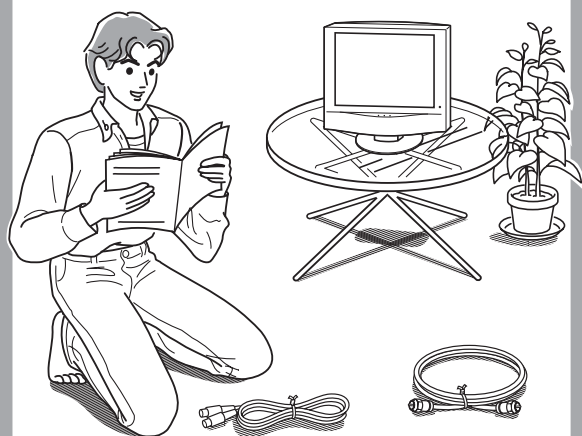
押すたびに、次のように時間が変わります。また、テレビ本体のスタンバイ/オフタイマーランプが赤く点灯します。

オフタイマーを途中でやめるには

オフタイマーボタンをくり返し押して、「オフタイマー:切」を選ぶ。

ちょっと一言

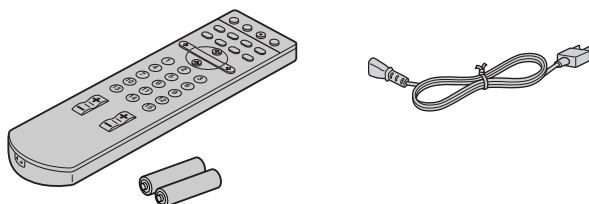
- オフタイマーが働いているときに、オフタイマーボタンを押すと、もう一度時間を設定できます。
- 電源を入れ直したときは、「オフタイマー:切」に戻ります。
- 電源が切れる1分前になると、「オフタイマーによりまもなく電源が切れます」と表示されます。メニューなどを開いているときは、「オフタイマーによりまもなく電源が切れます」と表示されないこともあります。

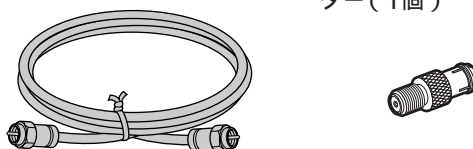
テレビの接続と準備

ここでは、テレビアンテナのつなぎかた、およびチャンネル設定を説明しています。
手順1～4（☞21～28ページ）まで済ませれば、テレビを見ることができます。
他の機器をつないでお使いになるときは、「他機との接続」（☞33～42ページ）をご覧ください。

手順1:付属品を確かめる

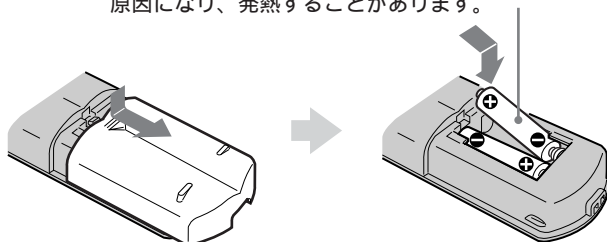
箱を開けたら、付属品がそろっているか確かめてください。

リモコン（1個）と単4型乾電池（2個）

電源コード（1本）

アンテナ接続ケーブル（1本）

アンテナ変換アダプター（1個）

取扱説明書
安全のために/安全点検チェックリスト
ソニーご相談窓口のご案内
保証書
（各1部）

リモコンに電池を入れるには

必ずイラストのように⊖極側から電池を入れてください。無理に入れたり逆に入れたりすると、ショートの原因になり、発熱することがあります。

壁にかけるときは

本機を壁にかけて使用するときは、別売りの壁取付金具をご使用ください。

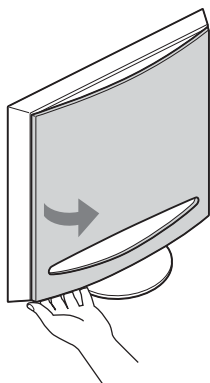
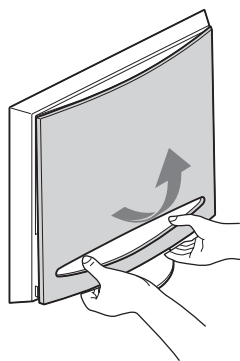
- 液晶テレビ用壁取付金具（別売り）
  SU-W210

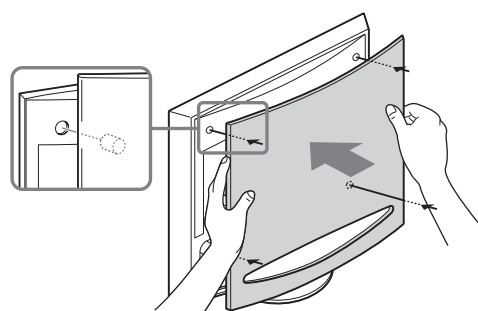
手順2:
テレビアンテナをつなぐ

テレビアンテナのつなぎかたは、壁のアンテナ端子の形や、使うケーブルによって異なります。下の例から最も近いものを選び、つないでください。
いずれにも当てはまらない場合は、販売店などにご相談ください。

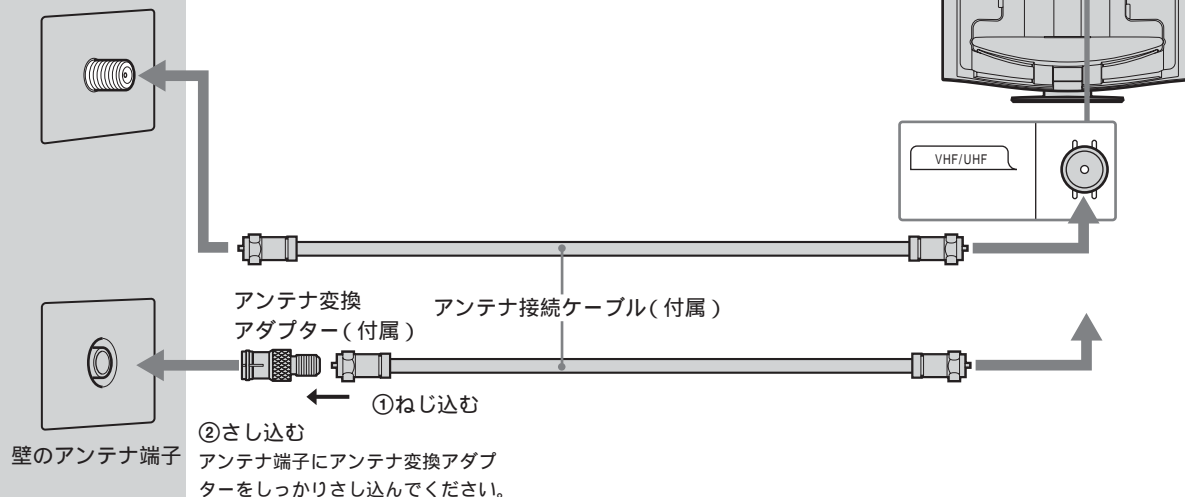
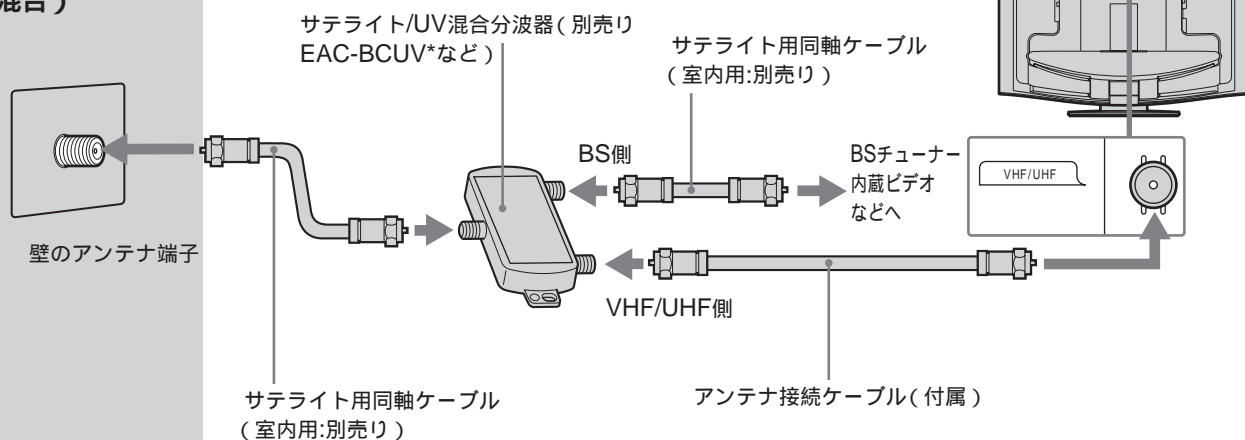
アンテナやケーブル類を接続するときは、後面のカバーをはずしてください。
(機器の接続が終わったらカバーを取り付けてください。)

カバーのはずしかた

①後面のカバーの右下の角(または左下の角)を図のように持ち、後ろへ引っ張る。同じように左下の角(または右下の角)もはずす。

②図のように両手で上へ持ち上げながらはずす。

カバーの取り付けかた

後面のカバーを図のように持ち、カバーの4か所の突起を本体の4か所の穴に合わせて、まっすぐ押しこむ。

ご注意

- 後面のカバーの取り外し、取り付けを行うときは、本体の転倒および落下などのないように気をつけてください。
- 後面のカバーは外れやすいので、本体を持ち運ぶときはカバーのみを持たないでください。

VHF/UHF混合、またはVHF、またはUHF

ご注意
アンテナ端子の汚れやゆるみは接触不良の原因となります。

CSデジタル放送を含めた共同受信システムのときは

お住まいのマンションの共同受信システムによって、壁のアンテナ端子への接続のしかたが異なります。マンション管理会社（または管理人や管理組合など）に、共同受信システム方式を確認し、その指示にしたがって、接続および受信方法の設定を行ってください。

きれいな画像をお楽しみいただくために

このテレビには、多くのデジタル回路による新テクノロジーが搭載されています。このため、安定した画像をお楽しみいただくためにはアンテナの接続状態がとても重要です。下記のようにアンテナの接続と設置を確実に行い、妨害電波を受けにくい安定した受信状態を確保してください。

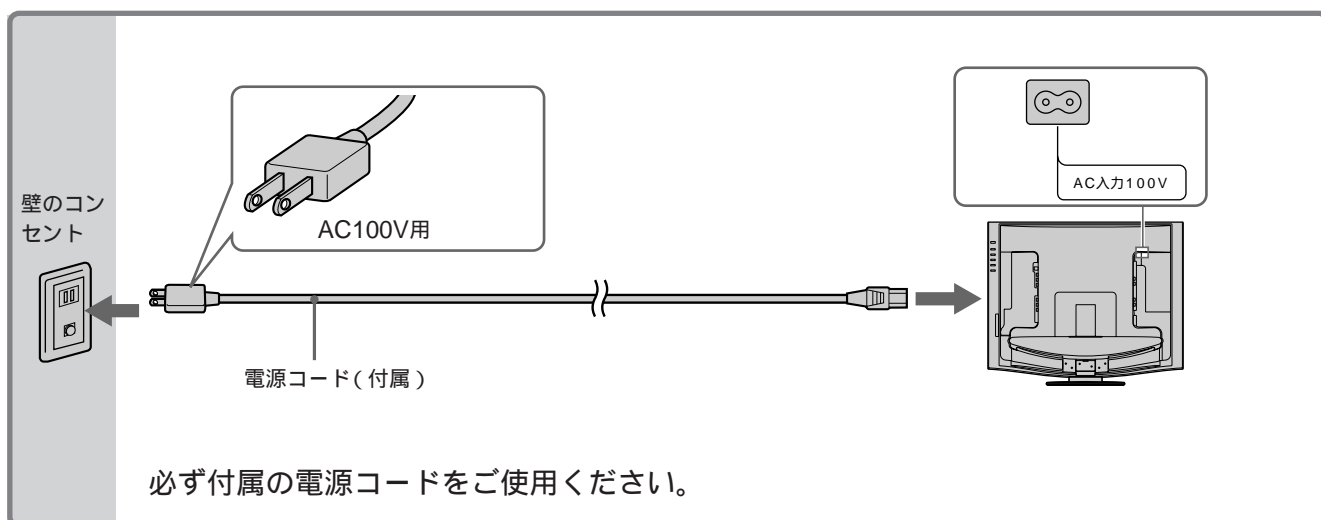
- **テレビ後面のVHF/UHF端子への接続は、必ず付属のアンテナ接続ケーブルを使ってください。**
- **アンテナ線は他の電源コードや接続ケーブルからできるだけ離してください。**
- **室内アンテナ、フィーダー線は特に電波妨害を受けやすいため、使わないでください。**

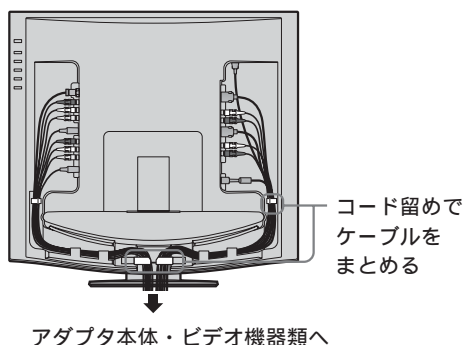
ご注意

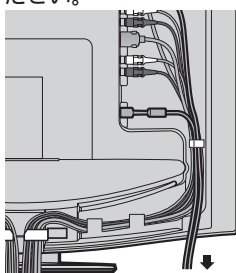
フィーダー線は同軸ケーブルよりも雑音電波などの影響を受けやすいため、信号が劣化します。フィーダー線をご使用になる場合は、テレビからできるだけ離してください。

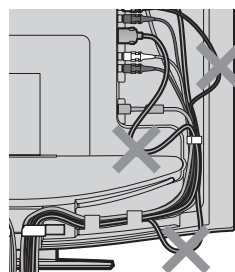
* 2003年4月現在の別売りアクセサリーです。万一、品切れや生産完了のときはご容赦ください。

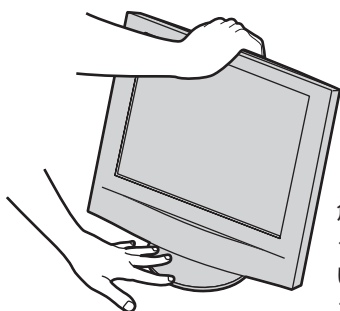
手順3:電源コードをつなぐ

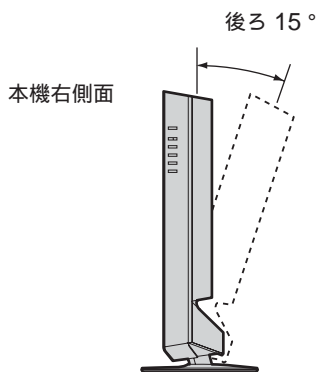
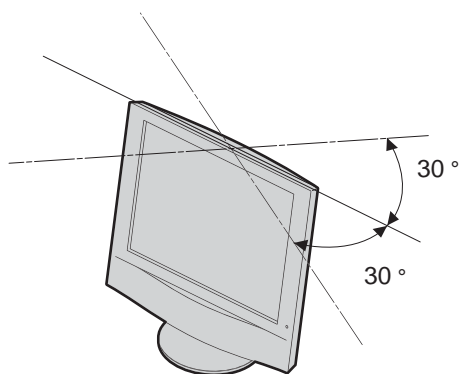
必ず付属の電源コードをご使用ください。

正しいケーブルのまとめかた

このテレビは、ケーブル類を本機後面に収納できます。
図のようにケーブルをたばねてスタンド部から出してください。

ちょっと一言

ケーブルをすべて収納できないときは、下図の部分からケーブルを出してください。

ご注意

ケーブルが整理されていないとカバーが取りつけられないことがあります。
正しいケーブルのまとめかたをご覧ください。

見やすい角度に調整する

本体の角度を調整できます。

角度を調整するときは、スタンド部分がずれたり、浮いたりしないように手で支えて固定してください。

本体を上向きに調整する

本体を左右に調整する

手順4: チャンネルを設定する

VHF/UHF**放送は、自動でも手動でも受信設定できます。はじめに自動設定することをおすすめします。**

受信できるVHF/UHF放送を、リモコンの数字ボタンに自動的に設定する場合

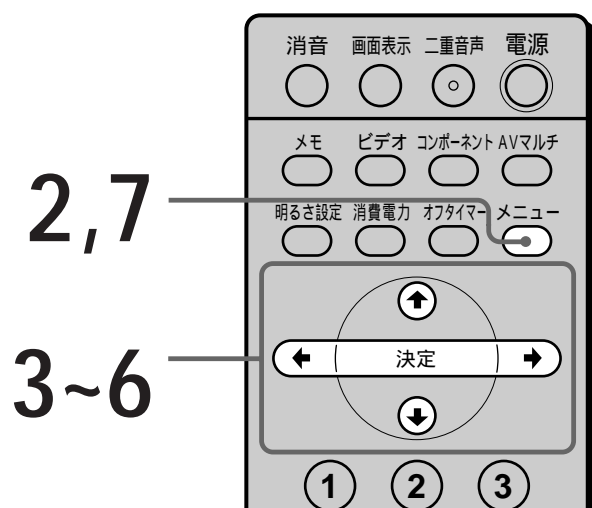
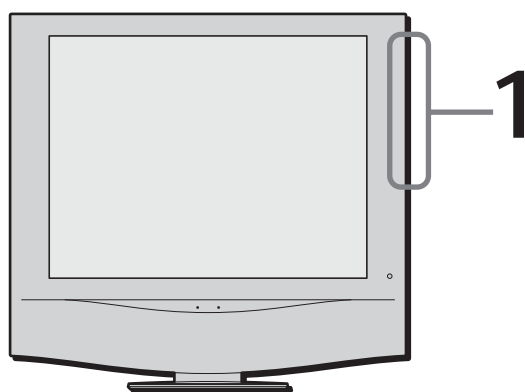
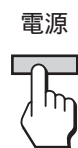
受信できるVHF/UHF放送を、リモコンの数字ボタンに自動的に設定する場合

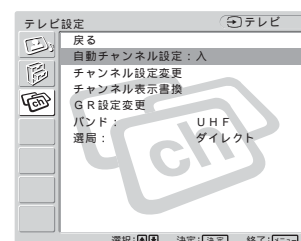
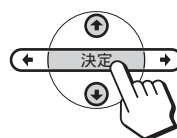
- リモコンの数字ボタンに設定したチャンネルを変えるには☞27**ページ**
- チャンネル表示書き換えをするには☞28**ページ**
- 放送のないチャンネルをとばすには☞28**ページ**
- ケーブルテレビを見るには☞28**ページ**

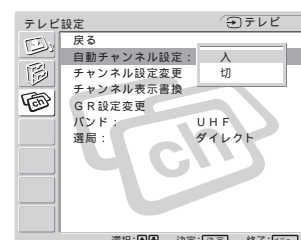
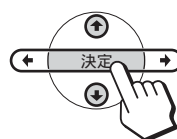
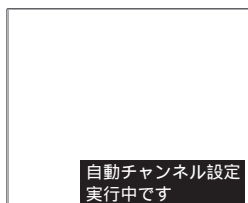
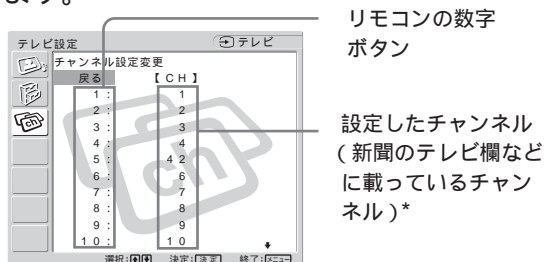
テレビの接続と準備

次のページにつづく

自動設定する

受信できるVHF/UHF放送を、リモコンの数字ボタンに自動的に設定します。放送のある時間帯に行ってください。
自動設定したチャンネルを変更したり、放送のないチャンネルをとばすときは、☞27～28ページをご覧ください。

1 **テレビ本体の電源スイッチを押す。**

2 **メニューボタンを押す。**

3 **↑/↓で「(テレビ設定)」を選び、決定ボタンを押す。**

4 **「自動チャンネル設定」が選ばれていることを確認して、決定ボタンを押す。**

選ばれていないときは、↑/↓で選び、決定ボタンを押す。

5 ↑/↓で「入」を選び、決定ボタンを押す。

「自動チャンネル設定実行中です」と表示され、自動的に設定が始まります。
設定が終わると、下のメニューに変わります。

* 地域によっては、これまでご覧になっていたチャンネル番号と異なる場合があります。

6 設定されたチャンネルを確認する。

手動で設定し直したいときは

☞27ページをご覧ください。

7 メニューボタンを押して、メニューを消す。

チャンネル設定を途中でやめるには

手順5で「自動チャンネル設定実行中です」のメッセージが出ている間に、リモコンのメニューボタンを押す。

手動設定する

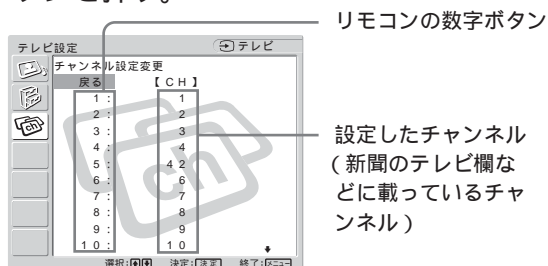
自動設定したチャンネルを変えたり、表示を書き換えたり、放送のないチャンネルをとばすことができます。
1～15のチャンネル数字ボタンを、手動で設定できます。

リモコンの数字ボタンに設定したチャンネルを変えるには

リモコンの数字ボタンに好きなチャンネルが映るように変えられます。

1 メニューボタンを押して、メニューを出す。

2 ↑/↓で「 （テレビ設定）」を選び、決定ボタンを押す。

3 ↑/↓で「チャンネル設定変更」を選び、決定ボタンを押す。

4 ↑/↓で変更したいリモコンの数字ボタンを選び、決定ボタンを押す。

5 ↑/↓で設定したチャンネルを変更し、決定ボタンを押す。

6 メニューボタンを押して、メニューを消す。

ちょっと一言

- 手動設定でケーブルテレビの受信の設定をするときは、「 （テレビ設定）」メニューで、「バンド」を「CATV」にしてください。詳しくは、（☞28ページ）をご覧ください。
- リモコンの数字ボタンの13～15に、UHFチャンネルを設定すると、チャンネルの順がわかりやすくなり便利です。

次のページにつづく

手順4：チャンネルを設定する（つづき）

チャンネル表示を書き換えるには

画面に出るチャンネル表示は、新聞のテレビ欄などに載っているチャンネルになっています。これを、好きなチャンネル番号などに書き換えることができます。

1 メニューボタンを押して、メニューを出す。

2 ↑/↓で「📺（テレビ設定）」を選び、決定ボタンを押す。

3 ↑/↓で「チャンネル表示書換」を選び、決定ボタンを押す。

4 ↑/↓で書き換えたいチャンネルを選び、決定ボタンを押す。

5 ↑/↓でチャンネル表示を書き換え、決定ボタンを押す。

6 メニューボタンを押して、メニューを消す。

ちょっと一言

チャンネルと表示が1対1で対応するように、チャンネル表示を書き換えてください。複数のチャンネルを同一のチャンネル表示にすることもできますが、おすすめしません。

放送のないチャンネルをとばすには

チャンネル＋/－ボタンでチャンネルを選ぶときに、放送のないチャンネルをとばす（選局しない）ように設定できます。

1 メニューボタンを押して、メニューを出す。

2 ↑/↓で「📺（テレビ設定）」を選び、決定ボタンを押す。

3 ↑/↓で「チャンネル設定変更」を選び、決定ボタンを押す。

4 ↑/↓でとばしたいチャンネルを選び、決定ボタンを押す。

5 ↑/↓で「－－」を選び、決定ボタンを押す。

6 メニューボタンを押して、メニューを消す。

ケーブルテレビを見るには

ケーブルテレビ放送会社との受信契約が必要です。なお、ケーブルテレビを受信できない地域もあります。このテレビでは、C13～C35までのケーブルテレビチャンネルを受信できます。詳しくは、お近くのケーブルテレビ放送会社にお問い合わせください。

1 ダイレクト選局になっていることを確認する（☞29ページ）。

2 メニューボタンを押して、メニューを出す。

3 ↑/↓で「📺（テレビ設定）」を選び、決定ボタンを押す。

4 ↑/↓で「バンド」を選び、決定ボタンを押す。

5 ↑/↓で「CATV」を選び、決定ボタンを押す。

6 ↑/↓で「チャンネル設定変更」を選び、決定ボタンを押す。

7 ↑/↓でケーブルテレビを映したいリモコンの数字ボタンを選び、決定ボタンを押す。

8 ↑/↓でケーブルテレビのチャンネルを選び、決定ボタンを押す。

ケーブルテレビのチャンネルには、表示の前に「C」がつきます。
例:C24

9 メニューボタンを押して、メニューを消す。

ご注意

- ケーブルテレビとUHF放送を同時に受信したり、チャンネル設定したりすることはできません。
- ケーブルテレビで「10キー選局」（☞30ページ）をするときは、手動設定で受信設定をした後、「10キー選局」に切り換えてください。

数字ボタンの組み合わせでチャンネルを選ぶ［10キー選局］

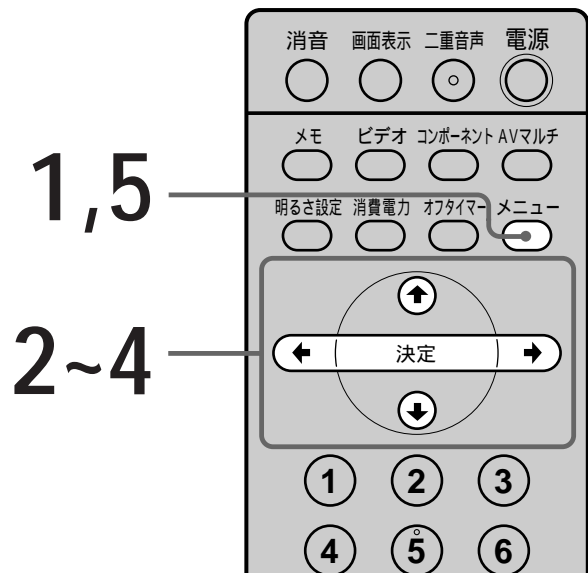
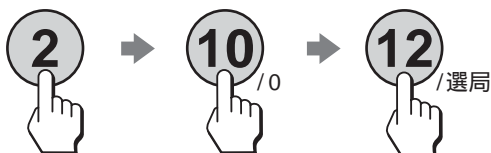
お買い上げ時は「ダイレクト選局」になっています。
「ダイレクト選局」は、リモコンの数字ボタンと同じチャンネルが映る選局方法で、受信できるチャンネル数は最大15局です。

そのため、ケーブルテレビなど見たいチャンネルの数が15局を越えるときは、「10キー選局」に変えてください。
「10キー選局」では、数字ボタンを十の位・一の位の順に押した後、⑫/選局を押して、チャンネルを選びます。0は⑩/0を使います。

ちょっと一言

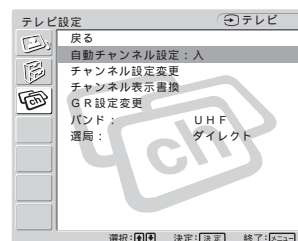
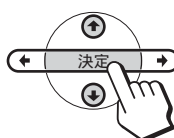
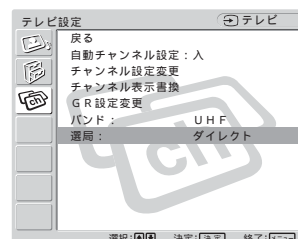
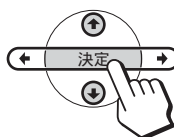
⑫/選局を押さなくても、約3秒後に切り換わりますが、押すとすぐに切り換わります。

例） 14**チャンネル**

20**チャンネル**

1 **メニューボタンを押す。**

2 **↑/↓で「ch（テレビ設定）」を選び、決定ボタンを押す。**

3 **↑/↓で「選局」を選び、決定ボタンを押す。**

次のページにつづく

数字ボタンの組み合わせでチャンネルを選ぶ［10キー選局］（つづき）

4 **↑/↓で「10キー」を選び、決定ボタンを押す。**

5 **メニューボタンを押して、メニューを消す。**

ダイレクト選局に戻すには

手順4で「ダイレクト」を選ぶ。

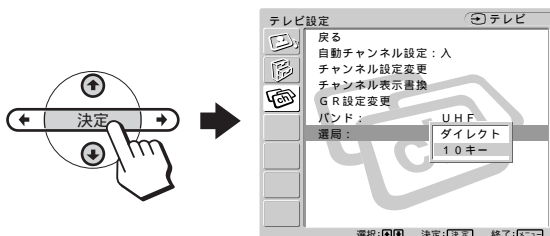
ご注意

- チャンネルを自動設定する（☞26ページ）ときは、ダイレクト選局に戻してから行ってください。
- ケーブルテレビのときは、手順2の後に下記の操作をした後、手順3以降を行ってください。
  1 ↑/↓で「バンド」を選び、決定ボタンを押す。
  2 ↑/↓で「CATV」を選び、決定ボタンを押す。
  3 手順3以降を行う。

チャンネル＋/－ボタンで選ぶ放送を設定するには

お買い上げ時は1～12チャンネルが順に選ばれるように設定されています。ケーブルテレビなどでこれ以外のチャンネルを選ぶときや、放送がないチャンネルをとばすときは、次のように設定します。

1 **メニューボタンを押して、メニューを出す。**

2 **↑/↓で「（テレビ設定）」を選び、決定ボタンを押す。**

3 **↑/↓で「チャンネル設定変更」を選び、決定ボタンを押す。**

4 **↑/↓で見たいチャンネル、またはとばしたいチャンネルを選び、決定ボタンを押す。**

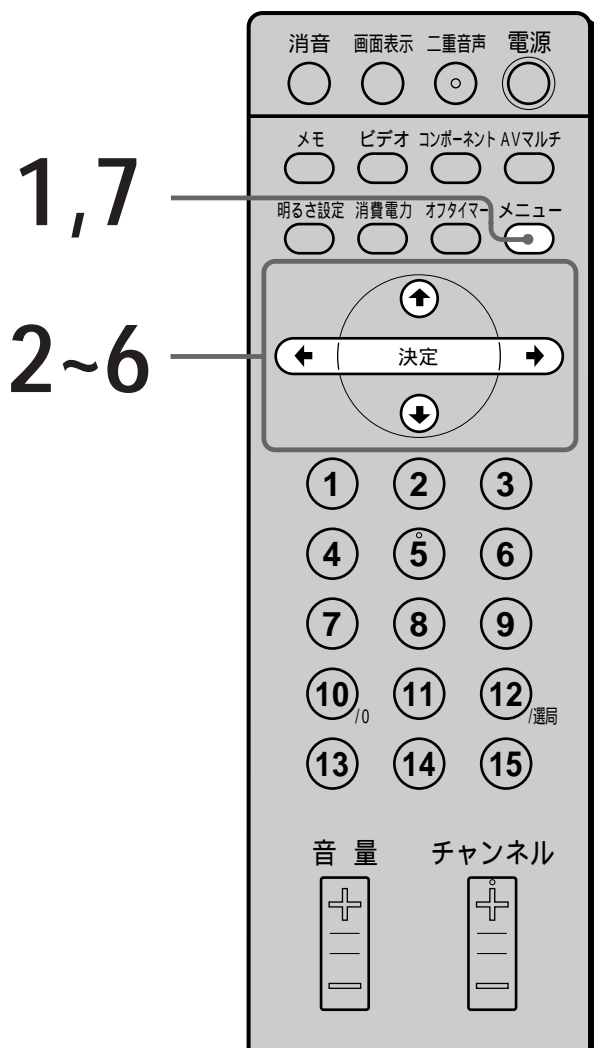
5 **↑/↓で見たいチャンネルのときは「受信」を、とばしたいチャンネルのときは「－－」を選び、決定ボタンを押す。**

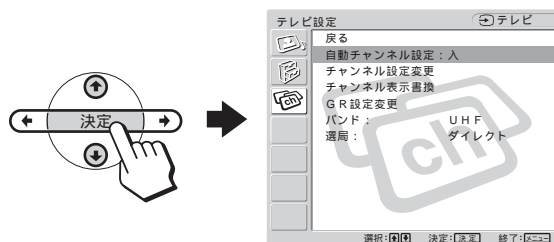
6 **複数のチャンネルを設定するときは、手順4と5をくり返す。**

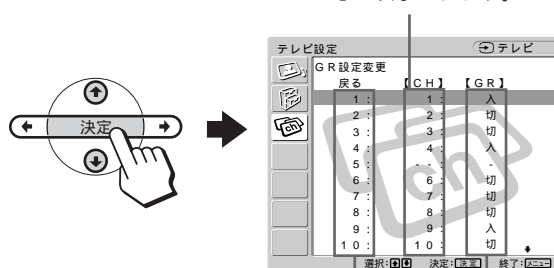
7 **メニューボタンを押して、メニューを消す。**

ゴーストの少ない画像にする [ゴースト・リダクション]

建物や地形などによる妨害波で起こるゴーストを、放送局から送信されるゴースト除去基準信号を感知して、少なくする（リダクション）ように、チャンネルごとに設定できます。
「GR」はゴースト・リダクションの略です。

ご注意
ビデオ機器の再生画像など、本機につないだ機器の映像に対しては設定できません。

1 **メニューボタンを押す。**

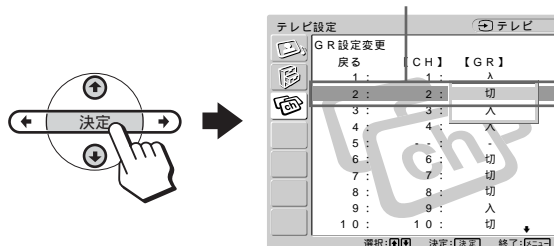
2 **↑/↓で「(テレビ設定)」を選び、決定ボタンを押す。**

3 **↑/↓で「GR設定変更」を選び、決定ボタンを押す。**

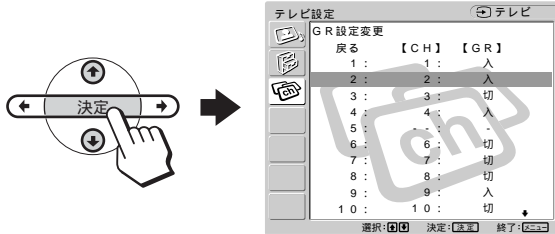
設定したチャンネル（新聞のテレビ欄などに載っているチャンネル）
10キー選局のときは、「受信」または「– –」と表示されます。

❶〜⓬/選局の地上波用数字ボタン　GR設定

4 **↑/↓で設定を変えたいチャンネルを選び、決定ボタンを押す。**

例：2チャンネルのGR設定を変えたいときは、ここを選ぶ

次のページにつづく

テレビの接続と準備

ゴーストの少ない画像にする［ゴースト・リダクション］（つづき）

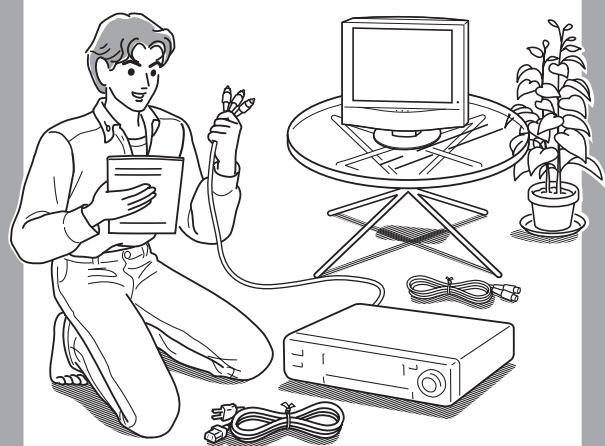
5 ↑/↓で「入」または「切」を選び、決定ボタンを押す。

6 複数のチャンネルを設定するときは、手順4と5を繰り返す。

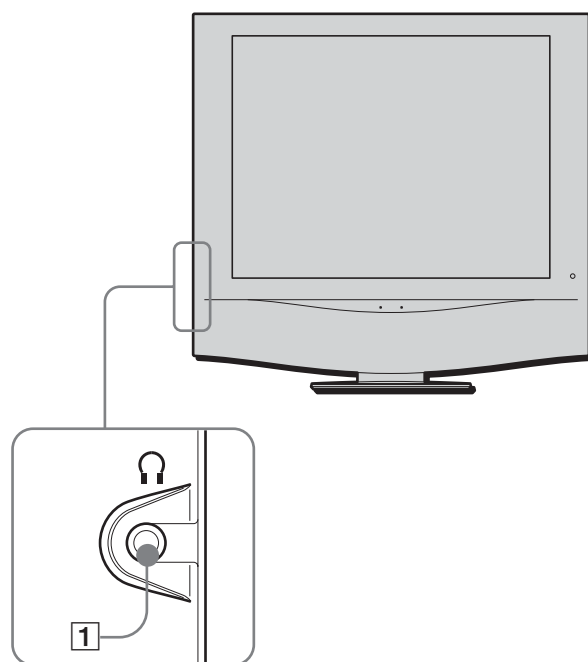
7 メニューボタンを押して、メニューを消す。

ご注意

- ゴースト・リダクションは、チャンネルを切り換えた後、数秒してから働き、大きなゴーストから順々に少なくしていきます。このとき、画像が一瞬またたくことがあります。
- 受信している電波が弱いときは、大きなゴーストに働くと別のゴーストが起きることがありますが、徐々に少なくしていきます。
- アンテナの設置や調整のときは「GR設定変更」を「切」にすると、ゴーストの少ない方向を確認できます。
- 次のときは効果が充分にでないため、「GR設定変更」を「切」にしてください。
  – ゴーストが大きすぎるとき
  – ゴーストが同時に10波以上起きているとき
  – 飛行機に反射して起きるゴーストなど、一定でないゴーストのとき
  – 室内アンテナなどアンテナの設置や調整が適切に行われていないとき

他機との接続

ここでは、接続端子の名前とはたらき、およびビデオデッキなど他の機器のつなぎかたについて説明しています。
テレビを見るための接続と準備については、「テレビの接続と準備」（☞21～31ページ）をご覧ください。

接続端子の名前とはたらき

テレビ前面

横から見た図

☞のページに詳しい説明があります。

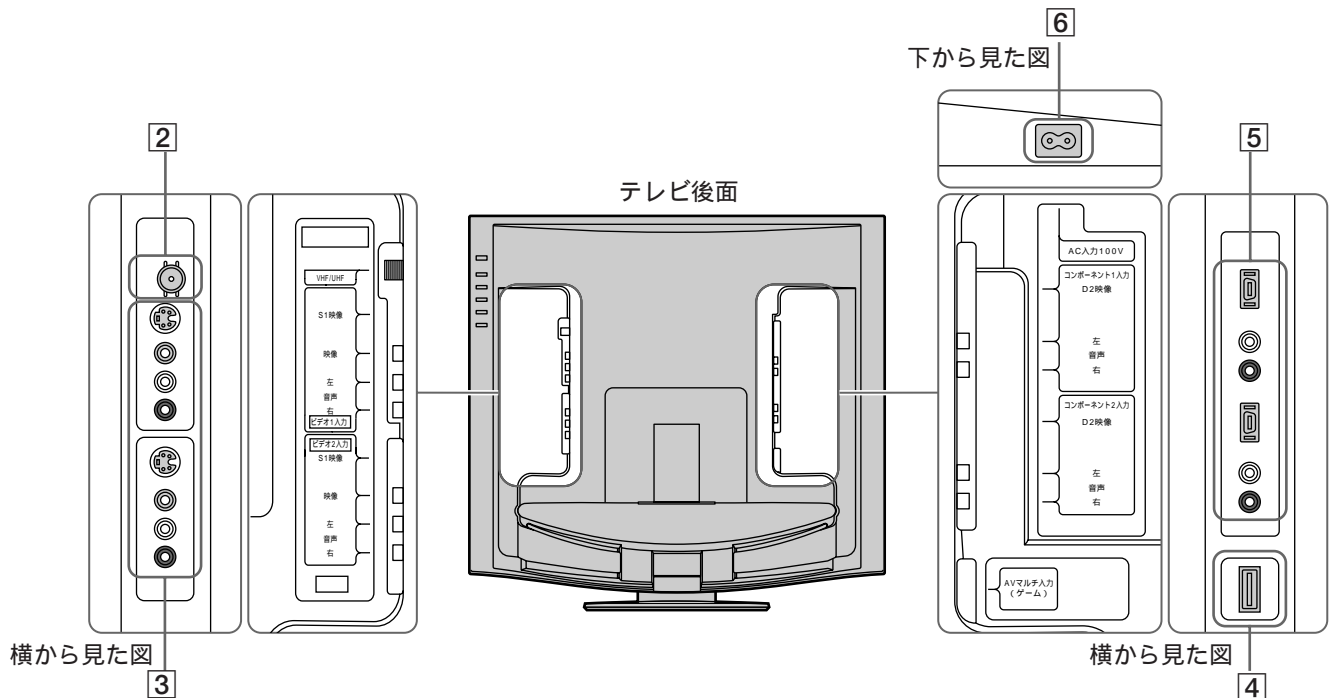
1 **ヘッドホン端子**
ヘッドホンをつなぎます。

2 VHF/UHF**アンテナ端子**（☞22**ページ**）
VHF/UHF用のアンテナ接続ケーブルやケーブルテレビのケーブルをつなぎます。

3 **ビデオ**1、2**入力端子**（S1**映像/映像/音声**）（**ビデオ**ID-1**システム**）（☞36～39、41、42**ページ**）
ビデオデッキやチャンネルサーバー、DVDプレーヤーなどのビデオ機器、およびデジタルCSチューナーなどのビデオ出力端子につなぎます。

他機との接続

次のページにつづく

接続端子の名前とはたらき（つづき）

☞のページに詳しい説明があります。

4 AV**マルチ入力（ゲーム）端子**（☞40**ページ**）

別売りのマルチAVケーブル（VMC-AVM250）を使って、“ プレイステーション2 ”などのAVマルチ出力端子につなぎます。RGB接続になり、よりきれいな映像でゲームを楽しめます。

5 **コンポーネント**1、2**入力端子**（D2**映像**/**音声**）（☞37、38、42**ページ**）

D2映像入力端子＊1

BSデジタルチューナーやデジタルCSチューナー、ビデオ機器などのD映像出力端子につなぎます。

＊1 D端子について
詳しくは、「映像信号フォーマットについて」（☞50ページ）をご覧ください。

音声入力端子

BSデジタルチューナーやデジタルCSチューナー、ビデオ機器の音声出力端子につなぎます。

コンポーネント1、2**入力端子**（D2**映像**/**音声**）**に**BS**デジタルチューナーをつなぐときは**（☞37**ページ**）

コンポーネント1、2**入力端子**（D2**映像**/**音声**）**に**DVD**プレーヤーをつなぐときは**（☞42**ページ**）

6 AC**入力**100V**端子**（☞24**ページ**）

電源コードをつなぎます。

D端子について

BSデジタル放送＊2には次のような信号フォーマットがあります。

＊2 BSデジタル放送の受信には、別途、BSデジタルチューナーが必要となります。

信号フォーマット	走査線数	有効走査線数
525i（480i）	525本	480本
525p（480p）	525本	480本
1125i（1080i）	1125本	1080本
750p（720p）	750本	720本

iはインターレース：飛び越し走査、pはプログレッシブ：順次走査の略です。（☞50ページ）

（　）内は走査線数で数えたときの別称です。

BSデジタル放送の信号フォーマットに対応するD端子の種類は次のようになっています。

D端子の種類とその対応信号フォーマット

D端子の種類	525i	525p	1125i	750p
D1端子	○	×	×	×
D2端子	○	○	×	×
D3端子	○	○	○	×
D4端子	○	○	○	○

本機にはD2**映像入力端子が**2**つ**ついています。BSデジタルチューナーの出力設定については、BSデジタルチューナーの取扱説明書をご覧ください。

ビデオやチャンネルサーバーなどをつなぐ

ビデオデッキ、ビデオカメラ、またはチャンネルサーバーなどをつなぎます。それぞれの機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

S1映像端子と映像端子のどちらにつなぐか迷ったときは

よりよい画質でご覧いただくために、S1映像端子につないでください。
つなぐ機器にS映像端子がない場合は、映像端子につなぎます。

テレビのビデオ1、2入力のS1映像入力端子と映像入力端子の両方につないだときは

ビデオやチャンネルサーバーの映像信号をどちらの端子から入力するかを、メニュー画面で設定できます。お買い上げ時は、S1映像入力端子から入力された画像が映ります。

1 **ビデオボタンをくり返し押して、切り換えたいビデオ入力を選ぶ。**

2 **メニューボタンを押して、メニューを出す。**

3 **↑/↓で「（各種切換）」を選び、決定ボタンを押す。**

4 **↑/↓で「S映像」を選び、決定ボタンを押す。**

5 **S1映像入力端子から入力された画像を見るときは**
↑/↓で「入」を選び、決定ボタンを押す。

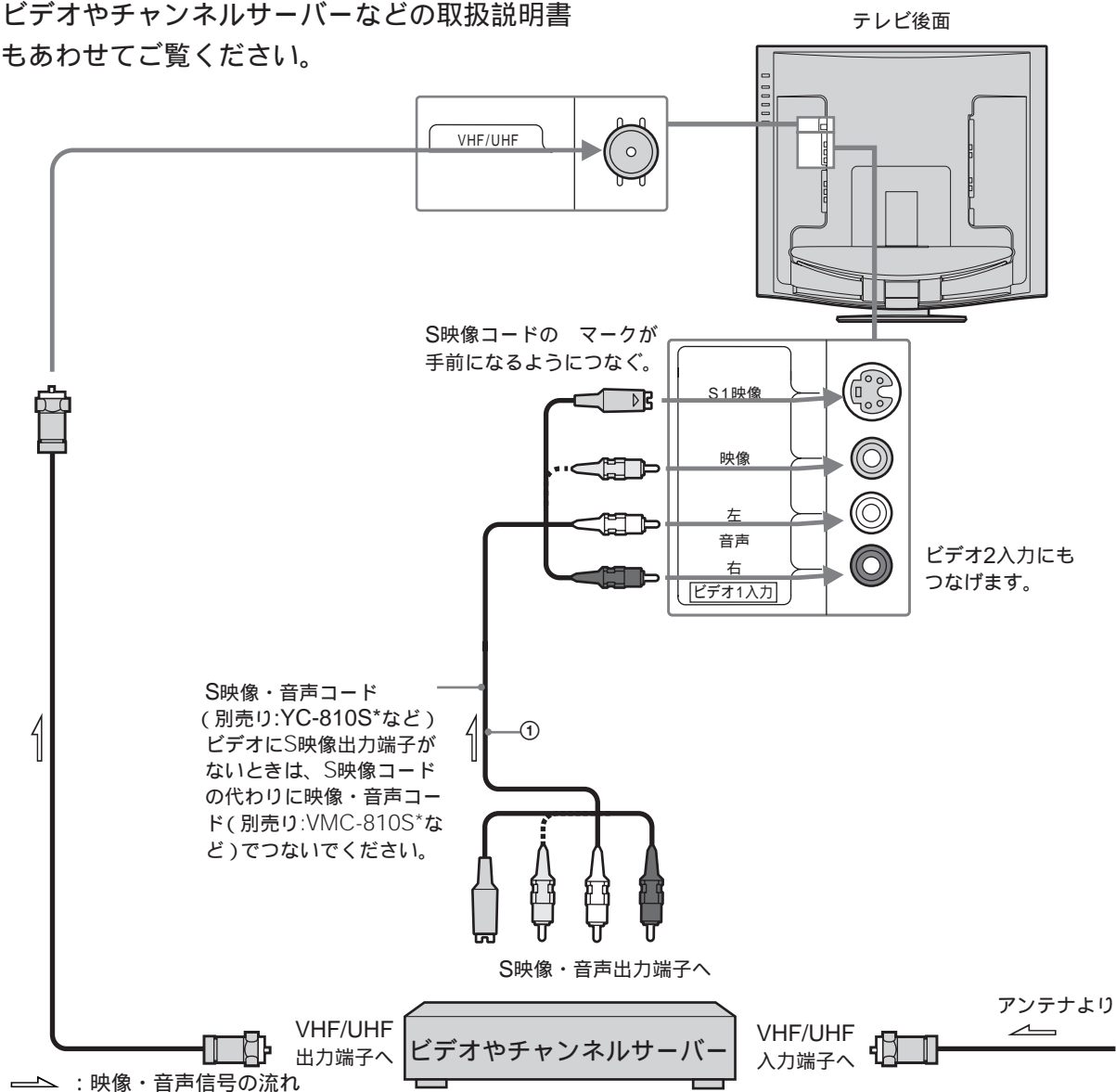
映像入力端子から入力された画像を見るときは
↑/↓で「切」を選び、決定ボタンを押す。

6 **メニューボタンを押して、メニューを消す。**

他機との接続

次のページにつづく

ビデオやチャンネルサーバーなどをつなぐ（つづき）

ビデオやチャンネルサーバーなどの機器の再生画像を見るための接続です。
ビデオやチャンネルサーバーなどの取扱説明書もあわせてご覧ください。

①ビデオやチャンネルサーバーなどの再生画像を見るための接続です（☞12ページ）。

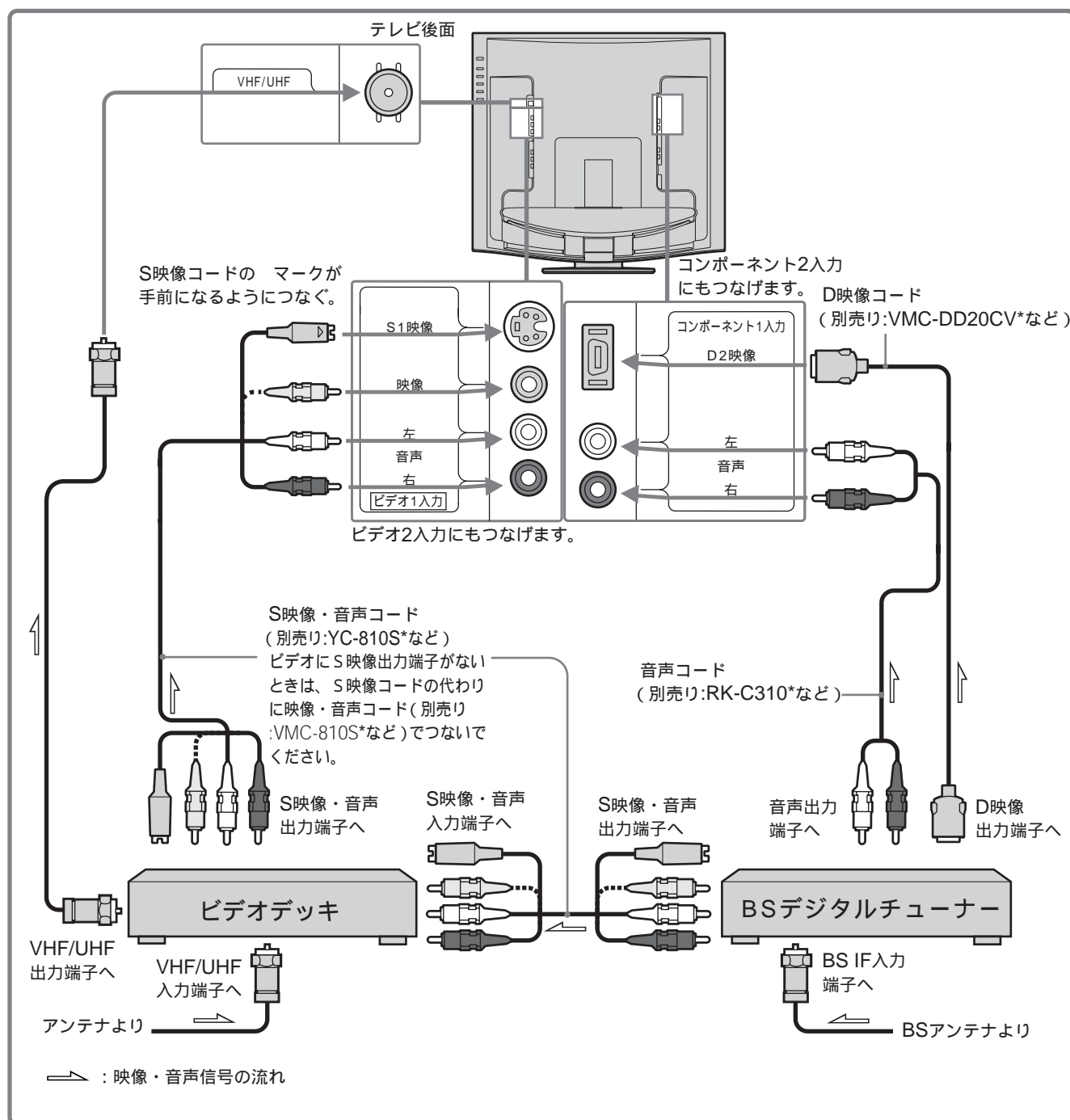
ちょっと一言
D映像出力端子があるチャンネルサーバーとつなぐときは、D映像コード（別売り：VMC-DD20CV*など）でもつなげます。

ビデオやチャンネルサーバーなどを見るには

ビデオボタンを押して、ビデオやチャンネルサーバーなどをつないだビデオ1入力（「ビデオ1」）を表示させる。
詳しくは、☞12ページをご覧ください。

* 2003年4月現在の別売りアクセサリーです。万一、品切れや生産完了のときはご容赦ください。

BSデジタルチューナーをつなぐ

2000年12月から放送が開始されたBSデジタル放送を見るには、BSデジタルチューナーが必要です。BSデジタルチューナーの取扱説明書もあわせてご覧ください。

BSデジタル放送を見るには

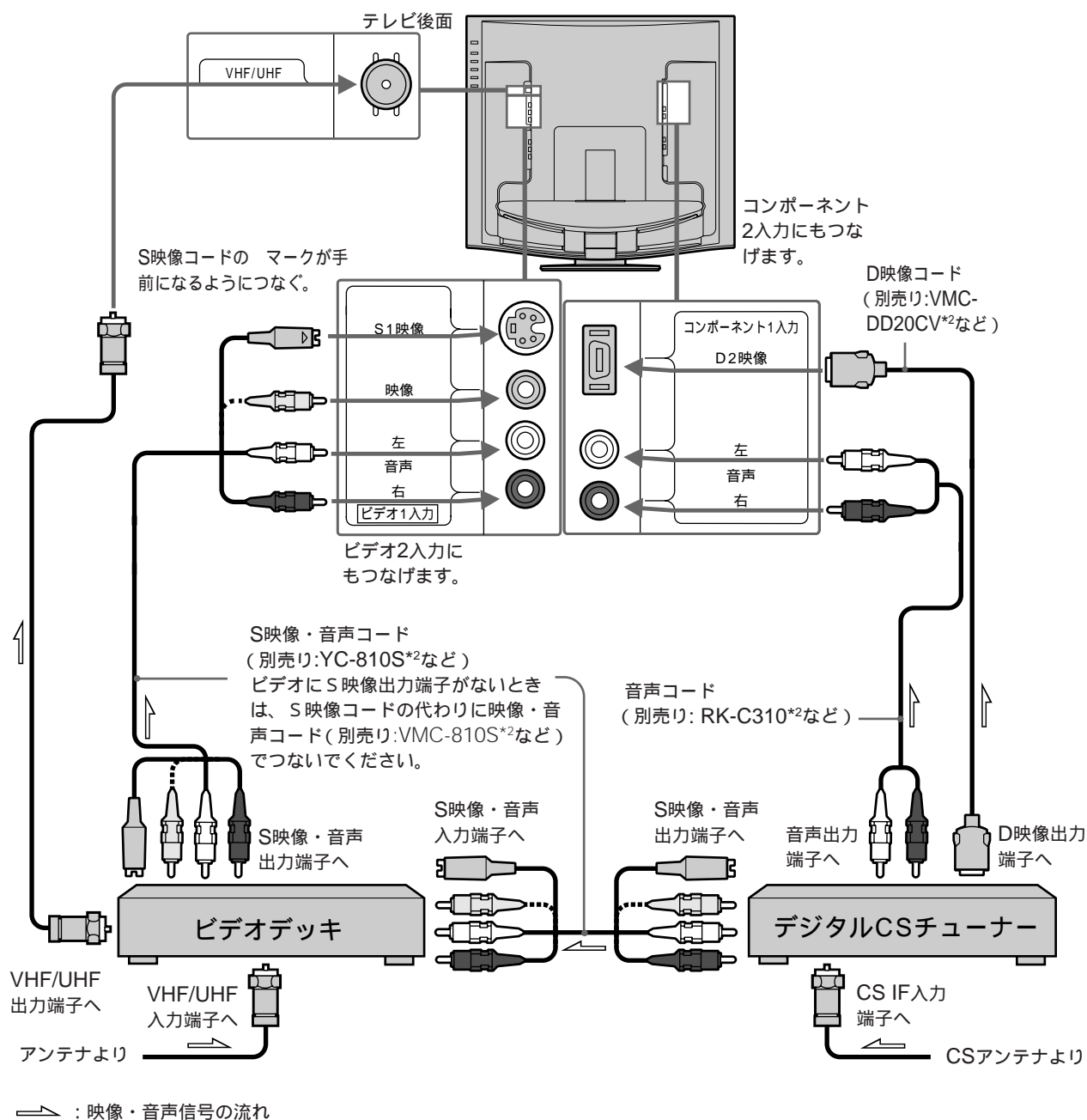
コンポーネントボタンを押して、BSデジタルチューナーをつないだコンポーネント1入力(「コンポーネント1」)を表示させる。
詳しくは、☞12ページをご覧ください。

* 2003年4月現在の別売りアクセサリーです。万一、品切れや生産完了のときはご容赦ください。

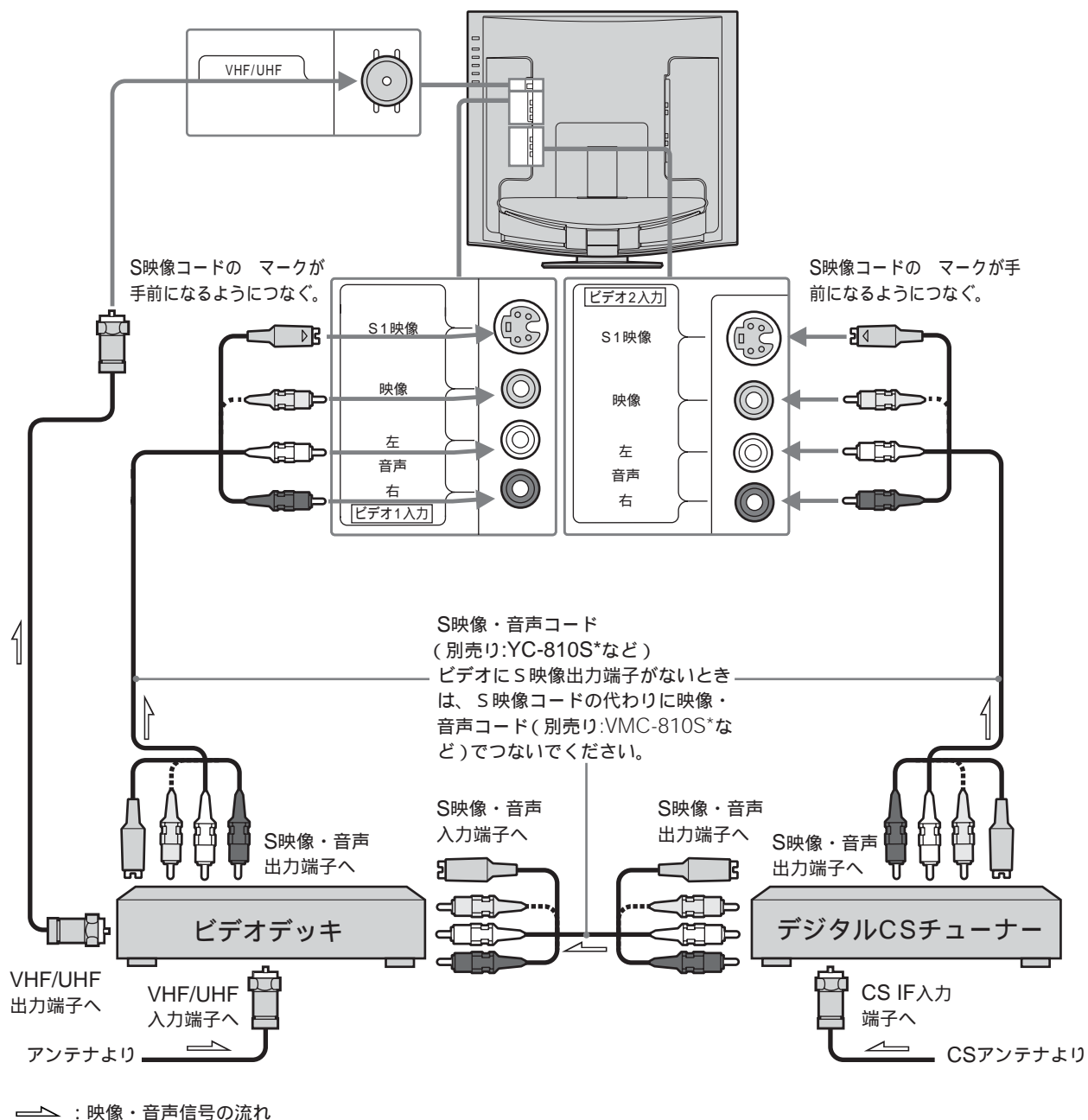
他機との接続

デジタルCSチューナーをつなぐ

デジタルCS放送[*1]を見るには、デジタルCS放送局と受信契約が必要です。詳しくはデジタルCS放送局へお問い合わせください。
デジタルCSチューナーの取扱説明書もあわせてご覧ください。

*1 2003年4月現在放送されているスカイパーフェクTV！のことです。2002年3月から放送が開始された110度CS放送ではありません。

デジタルCS放送を見るには

コンポーネントボタンを押して、デジタルCSチューナーをつないだコンポーネント1入力（「コンポーネント1」）を表示させる。
詳しくは、☞12ページをご覧ください。

*2 2003年4月現在の別売りアクセサリーです。万一、品切れや生産完了のときはご容赦ください。

デジタルCS放送を見るには

コンポーネントボタンを押して、デジタルCSチューナーをつないだコンポーネント1入力(「コンポーネント1」)を表示させる。
詳しくは、☞12ページをご覧ください。

* 2003年4月現在の別売りアクセサリーです。万一、品切れや生産完了のときはご容赦ください。

他機との接続

“プレイステーション 2”などをつなぐ

“プレイステーション 2”、“プレイステーション ”(PS one) および“プレイステーション ”の取扱説明書もあわせて、お読みください。

ご注意

“プレイステーション 2”の一部の機種では、マルチAVケーブル（VMC-AVM250*）で接続し、DVDビデオを再生した場合、出力信号（RGB）がコンポーネント映像信号（Y Cb/Pb Cr/Pr）に固定されるため、画面が乱れることがあります。本機のAVマルチ入力端子は、このコンポーネント映像信号に対応していますが、「AVマルチ入力」が「AVマルチRGB」に選択されているとDVDが正しく再生されません。AVマルチボタンをくり返し押して、「AVマルチY/CB/CR」を表示させ、入力を切り換えてください。

詳しくは、“プレイステーション 2”本体の取扱説明書をご覧いただくか、下記にお問い合わせください。

株式会社　ソニー・コンピュータエンタテインメント
インフォメーションセンター
ナビダイヤル 0570-000-929
携帯電話・PHSでのご利用は 03-3475-7444
受付時間：10:00～18:00（土日祝日を除く）

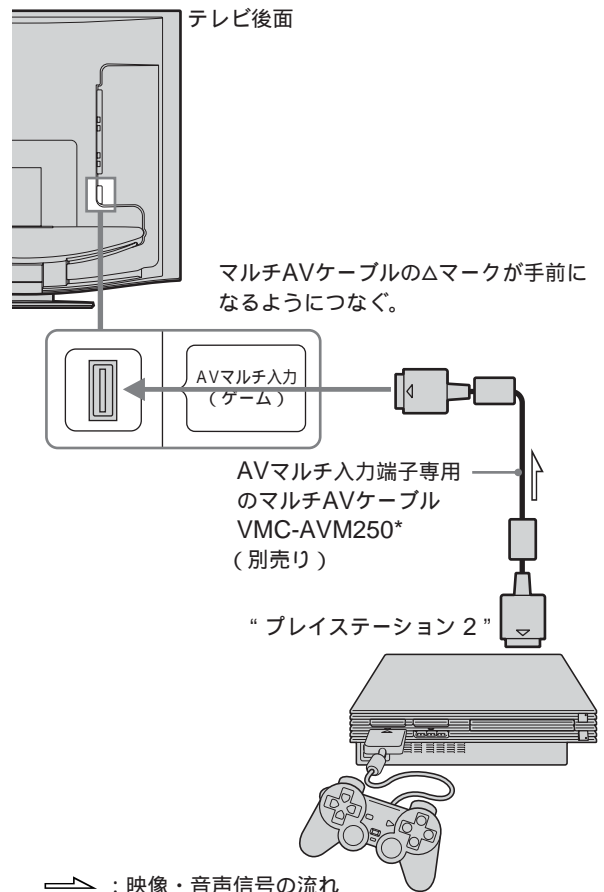
“プレイステーション ”は株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの登録商標です。
また、“PS one”は同社の商標です。

* 2003年4月現在の別売りアクセサリーです。万一、品切れや生産完了のときはご容赦ください。

別売りのマルチAVケーブルでつなぐときは

RGB接続またはY/CB/CR接続になり、高画質な画像でゲームを楽しめます。

ご注意

ソフトウェアによっては、AVマルチ入力端子のRGB接続またはY/CB/CR接続に適していないものもあります。

“プレイステーション 2”を使うには

“プレイステーション 2”側のシステム設定画面にある「コンポーネント映像出力」と同じ設定に合わせます。AVマルチボタンをくり返し押して、「AVマルチRGB」または「AVマルチY/CB/CR」を表示させる。

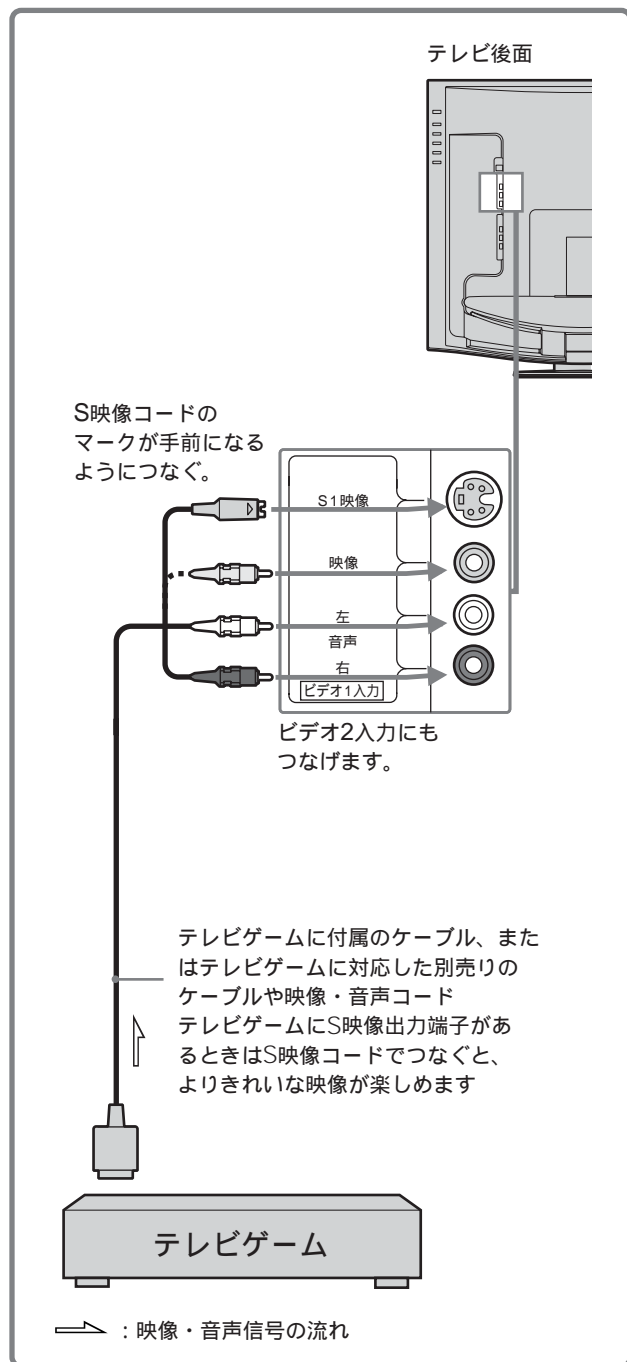
詳しくは、☞12ページをご覧ください。

“プレイステーション ”(PS one) および“プレイステーション ”を使うには

AVマルチボタンをくり返し押して、「AVマルチRGB」を表示させる。

詳しくは、☞12ページをご覧ください。

その他のテレビゲームなどをつなぐ

テレビゲームの取扱説明書もあわせてお読みください。

テレビゲームをするには

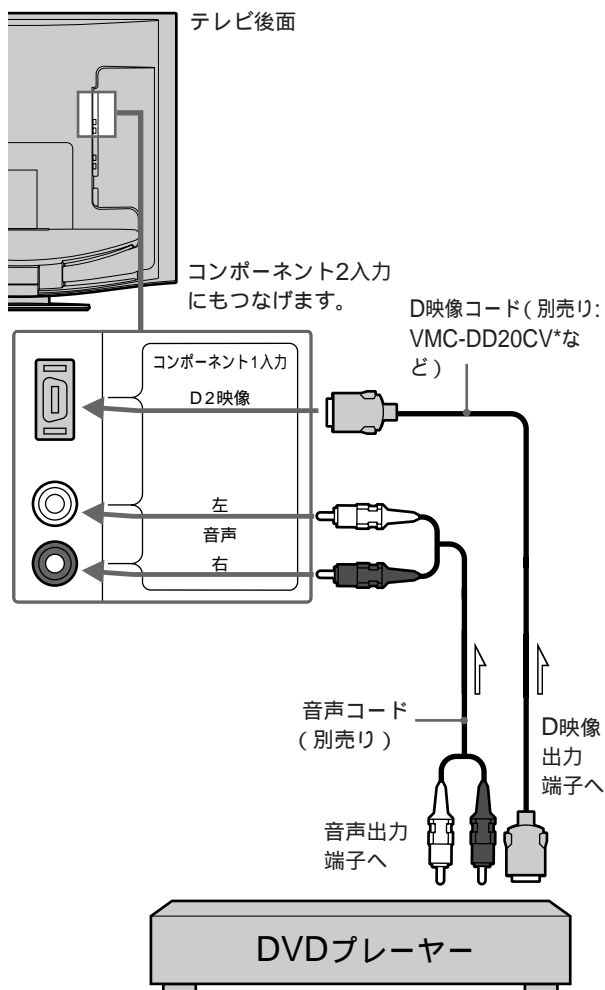
ビデオボタンを押して、テレビゲームをつないだビデオ1入力（「ビデオ1」）を表示させる。
詳しくは、☞12ページをご覧ください。

ご注意

電子的なライフルやガン（銃）などで標的にして楽しむシューティングゲームなどは、テレビの画面を使用できないことがあります。詳しくは、各ソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。

DVDプレーヤーをつなぐ

コンポーネントビデオ出力端子のあるDVDプレーヤーはテレビのコンポーネント入力端子につなぐと、より高画質の画像をお楽しみいただけます。
DVDプレーヤーの取扱説明書もあわせてご覧ください。

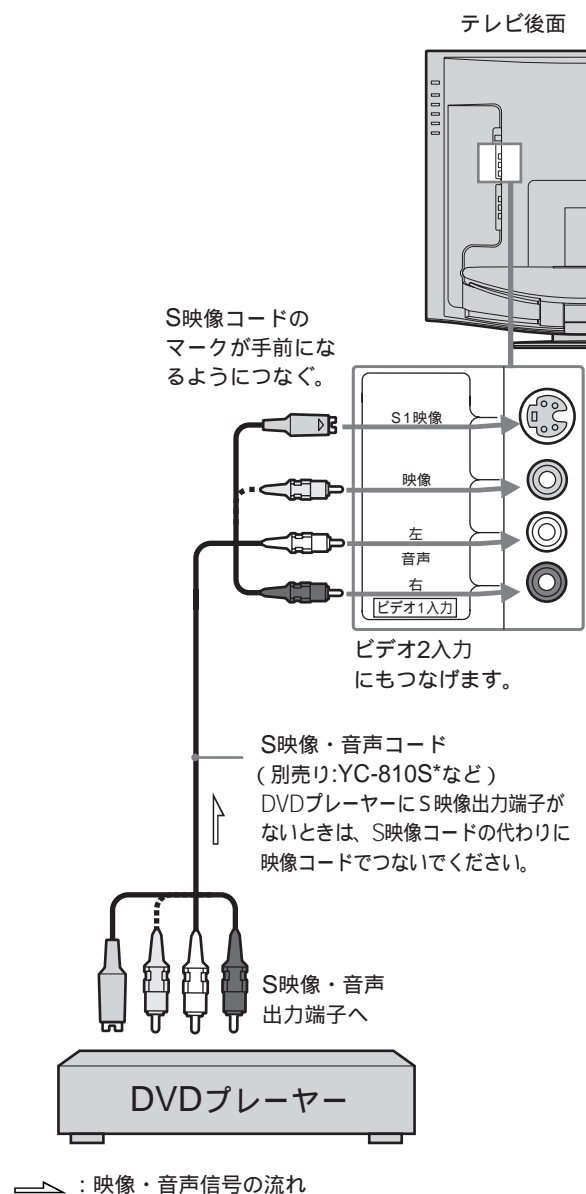
コンポーネントビデオ出力端子のあるDVDプレーヤーのときは

D映像コードの代わりに、映像コード（別売り: VMC-DP20CV*など）を使ってY端子、 C_B端子、 C_R端子とD端子をつなぐこともできます。

* 2003年4月現在の別売りアクセサリーです。万一、品切れや生産完了のときはご容赦ください。

DVDを見るには

コンポーネントビデオ出力端子のあるDVDプレーヤーのときは

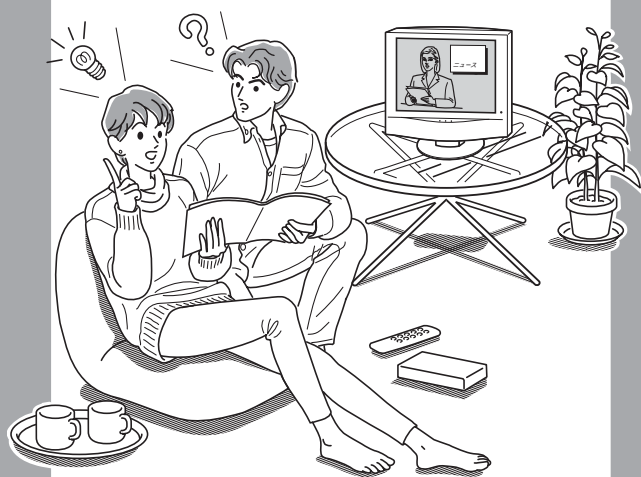
コンポーネントボタンを押して、DVDプレーヤーをつないだコンポーネント1入力（「コンポーネント1」）を表示させる。
詳しくは、☞12ページをご覧ください。

コンポーネントビデオ出力端子のないDVDプレーヤーのときは

DVDを見るには

コンポーネントビデオ出力端子のないDVDプレーヤーのときは

ビデオボタンを押して、DVDプレーヤーをつないだビデオ1入力（「ビデオ1」）を表示させる。
詳しくは、☞12ページをご覧ください。

その他

ここでは、テレビが正常に動かないときに解決する方法や、お手入れのしかたなどについて説明しています。
また、各部の名前や索引を使って、知りたい情報を探すこともできます。

故障かな？と思ったら

修理に出す前に、もう1度、点検をしてください。それでも、正常に動作しないときは、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。
ご相談になるときは、次のことをお知らせください。

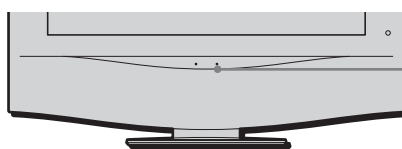
テレビ本体の型名：
ケーエルブイ　エスアール
KLV-21SR2

リモコンの型名：
アールエムジェイ
RM-J928

故障の状況：できるだけくわしく

購入年月日：

自己診断表示

このテレビには自己診断表示機能がついています。これはテレビに異常が起きたときに、電源ランプの点滅でテレビの状態をお知らせし、よりスムーズにサービス対応させていただくための機能です。電源ランプがオレンジ色に点滅したら、下の手順にそって、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

1 電源ランプの点滅時間（このとき色はオレンジ）を計ってください。
たとえば、2秒点灯→1秒消灯→2秒点灯
2 テレビ本体の電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いて、お買い上げ店またはソニーサービス窓口に点滅のしかた（時間）を知らせてください。

次のページにつづく

テレビの症状と対処のしかた

症状		対処のしかた
画像が出ない	**すべてのチャンネルが映らない。**	• 電源コードをしっかりつないでください。 • テレビ本体の電源を入れてください。 • アンテナ線をしっかりつないでください。
	特定のチャンネルだけが映らない。	• チャンネルを合わせ直してください（☞25ページ）。
	テレビの電源が突然切れた/いつのまにか消えていた（スタンバイ状態になった）。	• テレビの消し忘れを防ぐため、放送終了後、または放送のないチャンネルを受信している状態やつないだ機器からの入力信号がない状態で、約10分過ぎると、「まもなく電源が切れます」と表示されて、自動的にスタンバイ状態になります。 • オフタイマーを設定していませんでしたか?(☞20ページ)
	つないだ機器の画像が出ない。	• 接続コードをしっかりつないでください。 • リモコンの入力切換用ボタンを押してください（☞12ページ）。 • S映像入力のときは、「（各種切換）」メニューで「S映像」を「入」にしてください（☞35ページ）。
きれいに映らない	**画像が二重、三重になる。**	• アンテナ線をしっかりつないでください。 • アンテナの位置、方向、角度を調整してください。
	雪が降るような画面、うすい画面、風がふくとちらつく。	• アンテナが風でこわれたり曲がったりしていないか確認してください。 • アンテナの寿命を確認してください（通常3〜5年、海辺では1〜2年）。
	斑点や点模様が走る。	• ヘアードライヤー、自動車、バイクなどからの雑音電波の干渉を受けています。アンテナはなるべく道路から離して設置してください。
	色がつかない、色がおかしい、画面が暗い。	• 明るさ設定ボタンを押して、明るさ設定を選んでください（☞6ページ）。 • 「（画質/音質）」メニューで、画質を調整してください。 • 「消費電力:減」のときは、画面が暗くなります（☞8ページ）。
	画面がまぶしい。	• 明るさ設定ボタンを押して、明るさ設定を選んでください(☞6ページ)。
	縞状のノイズが多い。	• 付属のアンテナ接続ケーブルを使って、テレビアンテナをつないでいるかを確認してください。 • アンテナ線は他の電源コードや接続ケーブルからできるだけ離してください。 • フィーダー線や室内アンテナは特に電波妨害を受けやすいため、使わないでください。
音が出ない／雑音が多い	**画像は出るが、音が出ない。**	• 音量が下がりきっていないか確認してください。 • 画面に「消音」の表示が出ているときは、リモコンの消音ボタンか音量＋ボタンを押して表示を消してください。 • ヘッドホンを抜いてください。
	雑音が多い。	• 付属のアンテナ接続ケーブルを使って、テレビアンテナをつないでいるかを確認してください。 • アンテナ線は他の電源コードや接続ケーブルからできるだけ離してください。 • フィーダー線や室内アンテナは特に電波妨害を受けやすいため、使わないでください。 • 「（各種切換）」メニューで「オートステレオ」を「切」にしてください（☞19ページ）。

症状		対処のしかた
メニューが選べない	**メニューで選べない項目がある。**	• 薄く表示されている項目は選べません（見ている画像の種類やメニューの設定によって、選べないように制約されています）。
画面が切り換わる／つぶれて見える	**「ワイドモード」が「オート」のときに画面モードが勝手に切り換わる。**	• 横縦比の信号（D2映像入力端子からのBSデジタル放送やID-1/S1方式）が入った映像は、自動判別して、縦方向を圧縮した横縦比16:9のワイド画面にするためです。
	「ワイドモード」が「入」のときに画面がつぶれて見える。	• 通常のテレビやBS放送など横縦比4:3の映像で、「ワイドモード」を「入」にすると、縦方向に圧縮されて不自然に見えることがあります。メニューの「各種切換」で「ワイドモード」を「オート」にしてください（☞9ページ）。 • ワイドクリアビジョン放送や上下に黒帯が入っている横長の映画などのワイド画像のときは、横縦比の信号が含まれていないため、従来から入っていた黒帯部分まで縦方向に圧縮されて、よりつぶれた映像になるためです。メニューの「各種切換」で「ワイドモード」を「オート」または「切」にしてください（☞9ページ）。
リモコンが働かない	**リモコンで操作できない。**	• 電池を交換してください。 • 電池の⊕⊖を正しい向きに入れてください。 • テレビ本体のスタンバイ/オフタイマーランプが赤く点灯していないときは、テレビ本体の電源スイッチを押してください。 • リモコンをテレビのリモコン受光部に正しく向けて、近くから操作してください。 • リモコン受光部の近くに蛍光灯などの強い照明があたっているときは、照明があたらないように、照明器具またはテレビの位置を調整してください。
	リモコンのチャンネル数字ボタンを押しても、チャンネルが選べない。	**ダイレクト選局の場合（☞29ページ）** • 「ch（テレビ設定）」メニューで「選局」が「ダイレクト」になっているかを確認してください。 **10キー選局の場合（☞29ページ）** • 「ch（テレビ設定）」メニューで「選局」が「10キー」になっているかを確認してください。 • 11チャンネルは①を2回、12チャンネルは①と②を続けて押してから、⑫/選局を押してください。 • チャンネル数字ボタンに続けて⑫/選局を押してください。

その他

使用上のご注意

電源についてのご注意

付属の電源コードをお使いください。

使用・設置場所についてのご注意

次のような場所での使用・設置はおやめください。

- 異常に高温になる場所
  炎天下や夏場の窓を閉め切った自動車内はとくに高温になり、放置すると変形したり、故障したりすることがあります。
- 直射日光のあたる場所、熱器具の近くなど、温度の高い場所
  変形したり、故障したりすることがあります。
- 振動の多い場所
- 強力な磁気のある場所
- 砂地、砂浜などの砂ぼこりの多い場所
  海辺や砂地、あるいは砂ぼこりが起こる場所などでは、砂がかからないようにしてください。故障の原因になるばかりか、修理できなくなることがあります。
- 暗すぎる部屋は目を疲れさせるのでよくありません。適度の明るさの中でご覧ください。また、連続して長い時間、画面を見ていることも目を疲れさせます。
- テレビの底面よりも、広くて水平で丈夫な場所に置いてください。
- 壁に掛けて使用するときは必ず専用の壁取付金具（別売り）を使用してください。

音量について

- 周辺の人の迷惑とならないよう適度の音量でお楽しみください。特に、夜間での音量は小さい音でも通りやすいので、窓を閉めたりヘッドホンを使用したりして、隣近所への配慮を十分し、生活環境を守りましょう。
- ヘッドホンをご使用のときは、耳をあまり刺激しないよう、適度な音量でお楽しみください。耳鳴りがするような場合は、音量を下げるか、使用を中止してください。

液晶画面についてのご注意

- 液晶画面を太陽にむけたままにすると、液晶画面を傷めてしまいます。窓際や室外に置くときなどはご注意ください。
- 前面のフィルターを強く押したり、ひっかいたり、上にものを置いたりしないでください。画面にムラが出たり、液晶パネルの故障の原因になります。
- 寒い所でご使用になると、画像が尾を引いて見えたり、画面が暗く見えたりすることがありますが、故障ではありません。温度が上がると元に戻ります。
- 静止画を継続的に表示した場合、残像を生じることがありますが、時間の経過とともに元に戻ります。
- 使用中に画面やキャビネットがあたたかくなることがありますが、故障ではありません。

蛍光管についてのご注意

本機は内部照明装置として専用蛍光管を使用しておりますが、この蛍光管には寿命があります。画面が暗くなったり、チラついたり、点灯しないときは、新しい専用蛍光管に取り替えてください。蛍光管の交換については、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にお問い合わせください。

輝点・滅点について

画面上に赤や青、緑の点（輝点）が消えなかったり、黒い点（滅点）がある場合がありますが、故障ではありません。
液晶画面は非常に精密な技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、ごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素があります。

お手入れ

スクリーン面の汚れは

- お手入れをする前に、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 液晶の画面は特殊加工がされていますので、なるべく画面にふれないようにしてください。また画面の汚れをふきとるときは、乾いた柔らかい布でふきとってください。
- アルコール、シンナー、ベンジンなどは使わないでください。変質したり、塗装がはげたりすることがあります。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
- 殺虫剤のような揮発性のものをかけたり、ゴムやビニール製品に長時間接触させると、変質したり、塗装がはげたりすることがあります。

外装の汚れは

- 乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤溶液を少し含ませた布で拭きとり、乾いた布でカラ拭きしてください。
- アルコールやベンジン、シンナー、殺虫剤をかけると、表面の仕上げを傷めたり、表示が消えてしまうことがあるので、使用しないでください。

搬送時のご注意

- 本機を運ぶときは、本機に接続されているケーブル等をすべてはずしてください。
  落としたりするとけがや故障の原因となることがあります。
- 修理や引っ越しなどで本機を運ぶ場合は、お買い上げ時に本機が入っていた箱と、クッション材を使ってください。
- 本機を手で運ぶときは、図のようにテレビの上下を持ち支えるようにしてください。後面のカバーは外れやすいので、カバーのみを持たないでください。

廃棄するときは

- **一般の廃棄物と一緒にしないでください。**
  ごみ廃棄場で処分されるごみの中にテレビを捨てないでください。
- **本機の蛍光管の中には水銀が含まれています。廃棄の際は、地方自治体の条例または規則に従ってください。**

リモコン取り扱い上のご注意

- 落としたり、踏みつけたり、中に液体をこぼしたりしないよう、ていねいに扱ってください。
- 直射日光が当たるところ、暖房機具のそばや湿度が高いところには置かないでください。

乾電池についての安全上のご注意

漏液、発熱、発火、破裂などを避けるため、下記のことを必ずお守りください。

⚠警告

- 火の中に入れない。ショートさせたり、分解、加熱しない。
- 充電しない。
- 指定された種類の電池を使用する。

⚠注意

- ＋と－の向きを正しく入れる。
- 電池を使いきったとき、長時間使用しないときは、取り出しておく。
- 新しい電池と使用した電池、種類の違う電池を混ぜて使わない。

もし電池の液が漏れたときは、電池入れの液をよくふきとってから、新しい電池を入れてください。万一、液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

保証書とアフターサービス

このテレビは日本国内専用です。電源電圧や放送規格の異なる海外ではお使いになれません。

保証書について

- この製品は保証書が添付されていますので、お買い上げの際、お買い上げの店からお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを
「故障かな？と思ったら」の項を参考にして、故障かどうかをお調べください。

それでも具合が悪いときはサービス窓口へ
お買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にある、お近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

部品の保有期間について
当社では、カラーテレビの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過した後でも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。

部品の交換について
この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。
その際、交換した部品は回収させていただきます。

ご相談になるときは次のことをお知らせください。

型名：KLV-21SR2
故障の状態：できるだけくわしく
購入年月日：

お買い上げ店 **TEL.**
お近くのサービスステーション **TEL.**

This television is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

主な仕様

システム

受信方式　NTSC方式
受信チャンネル　VHF 1～12チャンネル
UHF 13～62チャンネル
CATV C13～C35（ケーブルテレビ放送会社との受信契約が必要）
画面寸法　43.0×32.2cm、53.7cm
（幅×高さ、対角）
LCD パネル　a Si TFTアクティブマトリックス
有効画素率　99.99%
表示画素数　水平　1024ドット
垂直　768ライン
使用スピーカー　フルレンジ　5cm 丸×2
ウーファー　5.5cm 丸×2
音声出力　フルレンジ　2.6W×2（JEITA）、10Ω
ウーファー　3.8W（JEITA）、6Ω（12Ω並列）

入出力端子

アンテナ端子　VHF/UHF、75Ω F型コネクター
ビデオ1、2入力端子
S1映像:4ピンミニDIN
Y:1Vp-p、75Ω、不平衡、同期負
C:0.286Vp-p（バースト信号）、75Ω
映像: ピンジャック、1Vp-p、
75Ω、不平衡、同期負
音声: ピンジャック、2チャンネル、
500mVrms、インピーダンス
47kΩ以上
コンポーネント1、2入力端子
D2映像:
Y:1Vp-p（0.3V負同期付き）
C_B/C_R:±350mVp-p
入力インピーダンス 75Ω
音声: ピンジャック、2チャンネル、
500mVrms、インピーダンス
47kΩ以上
AVマルチ入力（ゲーム）端子
12ピン
ヘッドホン端子　ステレオミニジャック
負荷インピーダンス16Ω以上

電源部・その他

消費電力　98W
（リモコン待機時 0.5W以下）
最大外形寸法　スタンド含む:52.8×51.6×23.0cm
（幅×高さ×奥行き）
スタンドなし:52.8×49.1×11.8cm
質量　約10.6kg（スタンド含む）
約9.4kg（スタンドなし）
電源　使用電源:AC100V、50/60Hz

付属品　リモートコマンダー　RM-J928（1）
乾電池　単4形（2）
電源コード（1）
アンテナ接続ケーブル（1）
アンテナ変換アダプター（1）
取扱説明書（1）
保証書（1）
ソニーご相談窓口のご案内（1）
安全のために/安全点検チェックリスト（1）

別売りアクセサリー

液晶テレビ用テレビスタンド　SU-R210
液晶テレビ用フロアスタンド　SU-P210
液晶テレビ用壁取付金具　SU-W210
ステレオヘッドホン　MDR-AV305*など
AVマルチ入力（ゲーム）端子専用のマルチAVケーブル
VMC-AVM250*
接続ケーブルなど

* 2003年4月現在の別売りアクセサリーです。万一、品切れや生産完了のときはご容赦ください。

- このテレビは「高調波ガイドライン」適合品です。「高調波ガイドライン」適合品とは、通商産業省・資源エネルギー庁の定めた「家電・汎用高調波抑制対策ガイドライン」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルを考慮して設計・製造した製品です。
- このテレビは日本国内用ですから、電源電圧、放送規格の異なる外国ではお使いになれません。
- 仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

用語集

五十音順

ア行

インターレース（飛び越し走査）

走査線525本のうち、まず奇数番目の走査線（262.5本）を1/60秒かけて描き（この1画面を1フィールドという）、次にその間を埋めるように偶数番目の走査線（262.5本）を描き、合わせて走査線525本の1枚の完全な画面（フレーム）を作っていく飛び越し走査のことです。

カ行

ケーブルテレビ（CATV）

契約者と放送局をケーブルで直接結んで番組を提供する有線放送です。通常のテレビ番組やBS放送に加え、スポーツや映画の専門チャンネル、地域情報番組や文字放送などを見ることができます。

タ行

チューナー

電波を受信して各チャンネルに合わせるための機器です。このテレビはテレビチューナーを内蔵しています。

デジタルCS放送

通信衛星を使ったCS放送の一種です。従来のアナログCS放送とは違い、映像や音声をデジタル化することで、大量の情報を扱えます。これにより、多チャンネルの放送を高画質・高音質で楽しめます。

ハ行

ビスタビジョン

画面の横縦比が1.85:1になっている映像ソフトのことです。一般的には画像の中に字幕が入る映画などに使われています。

プログレッシブ（順次走査）

飛び越し走査（「インターレース」の項目を参照）をしないで、1フレーム目で525本全部の走査線を順番どおりに描き、次のフレームも同じ場所を525本全部の走査線で描いていく順次走査のことです。

数字・アルファベット順

BSデジタル放送

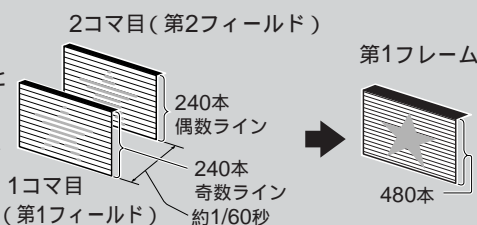
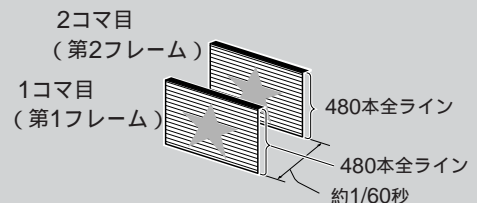
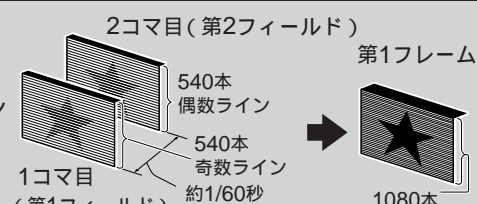
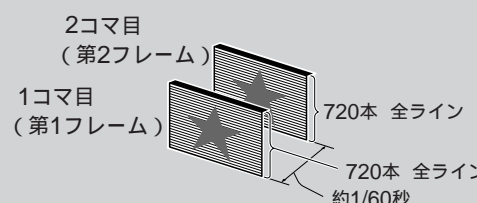
2000年12月から本放送が開始された放送衛星を使って、デジタル信号で映像や音声を流す放送のことです。大量の情報を扱えるので、多チャンネルの放送を高画質・高音質で楽しめます。くっきりはっきりした高画質のHDTV（高精細度テレビ）や、また文字や画像などのデータ放送、CD並みの高音質なラジオ放送などがあります。
BSデジタル放送を受信するには、別途BSデジタルチューナーが必要となります。

D端子

デジタルCS放送、BSデジタル放送およびDVDプレーヤーなどに対応したコンポーネント映像端子です。デジタルCSチューナーやDVDプレーヤーなどと、1本のケーブルで簡単に映像信号を接続できます。コンポーネント映像で接続するため、より高画質な画像を楽しめます。
D端子には対応する信号フォーマットによって、次の種類があります。
本機にはD2入力端子が2つ付いてます。

- D1端子 : 525i（480i）の信号に対応
- D2端子 : 525i（480i）と525p（480p）の信号に対応
- D3端子 : 525i（480i）と 525p（480p）、1125i（1080i）の信号に対応
- D4端子 : 525i（480i）と525p（480p）、1125i（1080i）、750p（720p）の信号に対応

iはインターレース、pはプログレッシブの略です。
（ ）内は有効走査線数で数えたときの別称です。

ID-1方式（ビデオID-1システム）

ビデオ信号の一部にデジタルのID信号を加算することにより、画面の横縦比（16:9、4:3またはレターボックス）の情報を記録するシステムの名前です。このテレビはID-1方式に対応しています。
ID-1方式対応のビデオカメラやビデオデッキなどを、テレビのビデオ入力端子につなぐと、ID-1方式の画像となります。ただし、あらかじめビデオカメラなどで「ワイドTV」モードを「入」にして録画した画像に限ります。

NTSC方式

日本やアメリカなどで使われているカラーテレビ方式で、毎秒30コマ、水平走査線数525本などが特長です。アメリカの連邦テレビジョン方式委員会（National Television System Committee）が制定し、1954年に放送が正式に開始されました。欧州や中国などで使われているPAL方式やSECAM方式とは互換性がありません。

映像信号フォーマットについて

日本国内の映像信号フォーマット（画像方式）は、走査線数と走査方式によって、以下の4種類があります。

映像信号フォーマット	映像の種類	対応するD端子
525i（480i） 525本（480本）の走査線を約1/60秒ごとに奇数ラインと偶数ラインを交互に流す（飛び越し走査：インターレース方式）映像信号です。通常のテレビ放送（VHF/UHF）の信号です。	• 通常のテレビ放送（VHF/UHF） • ビデオ入力の映像 • コンポーネント入力の以下の映像 – BSデジタル標準テレビ放送（525i） – デジタルCS放送 – DVDプレーヤーの映像	D1端子 D2**端子** D3端子 D4端子
525p（480p） 525本（480本）全部の走査線を順番どおりに描く（順次走査：プログレッシブ方式）映像信号です。	• コンポーネント入力のBSデジタル標準テレビ放送（525p） • コンポーネント入力のDVDプレーヤーの映像（プログレッシブ出力映像）	D2**端子** D3端子 D4端子
1125i（1080i） 1125本（1080本）の走査線を約1/60秒ごとに奇数ラインと偶数ラインを交互に流す（飛び越し走査：インターレース方式）映像信号です。 従来のハイビジョン放送は、有効走査線数が1035本です。	• コンポーネント入力のBSデジタルハイビジョン放送（1125i） • コンポーネント入力の従来ハイビジョン機器の映像（ベースバンド）	D3端子 D4端子
750p（720p） 750本（720本）全部の走査線を順番どおりに描く（順次走査：プログレッシブ方式）映像信号です。	• コンポーネント入力のBSデジタルハイビジョン放送（750p）	D4端子

（ ）内は有効走査線数で数えたときの別称です。また、iはインターレース（飛び越し走査）、pはプログレッシブ（順次走査）の略。

つないだ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。特に、BSデジタルチューナーの出力設定については、BSデジタルチューナー側の取扱説明書をご覧ください。

* コンポーネント入力はD端子からの映像です。

走査線・有効走査線数

テレビ映像の動画は1秒間に60枚の静止画を連続して表示することにより再現します。それぞれの静止画は多数の線の集合としての面として描かれており、この線のことを走査線と呼びます。走査線の数は映像信号フォーマットごとに決まっており、走査線の数が多いほどきめ細かい高精細な映像と言えます。通常のテレビ放送の走査線数は525本、ハイビジョン放送では1125本となっています。

この走査線の中には映像信号のほかにさまざまな識別制御信号なども含まれており、全走査線数中の映像信号の走査線数を有効走査線数と呼びます。通常のテレビ放送の有効走査線数は480本、従来のハイビジョンでは1035本、デジタルハイビジョンでは1080本となっています。
この液晶テレビは、固定ピクセルデバイスを採用しており、テレビが表示する走査線数はパネルによって固定的に決められています。

D端子（コンポーネント入力）

デジタルCS放送、BSデジタル放送およびDVDプレーヤーなどに対応したコンポーネント映像端子です。デジタルCSチューナーやDVDプレーヤーなどと、1本のケーブルで簡単に映像信号を接続できます。コンポーネント映像で接続するため、より高画質な画像を楽しめます。
このテレビにはD2入力端子（コンポーネント入力）が2つ付いてます。

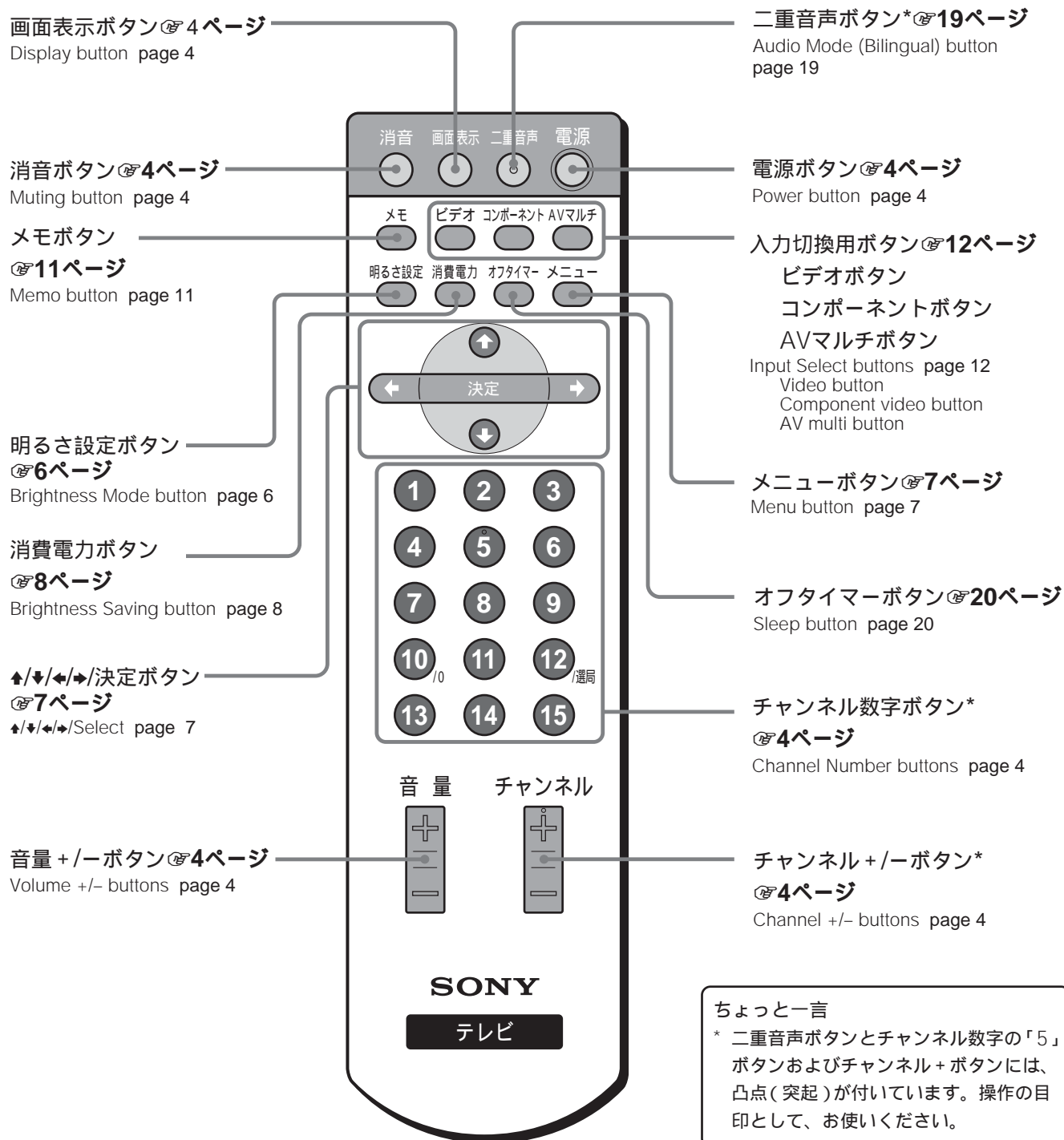
各部の名前/
Identifying parts and controls

テレビ前面/TV Front Panel

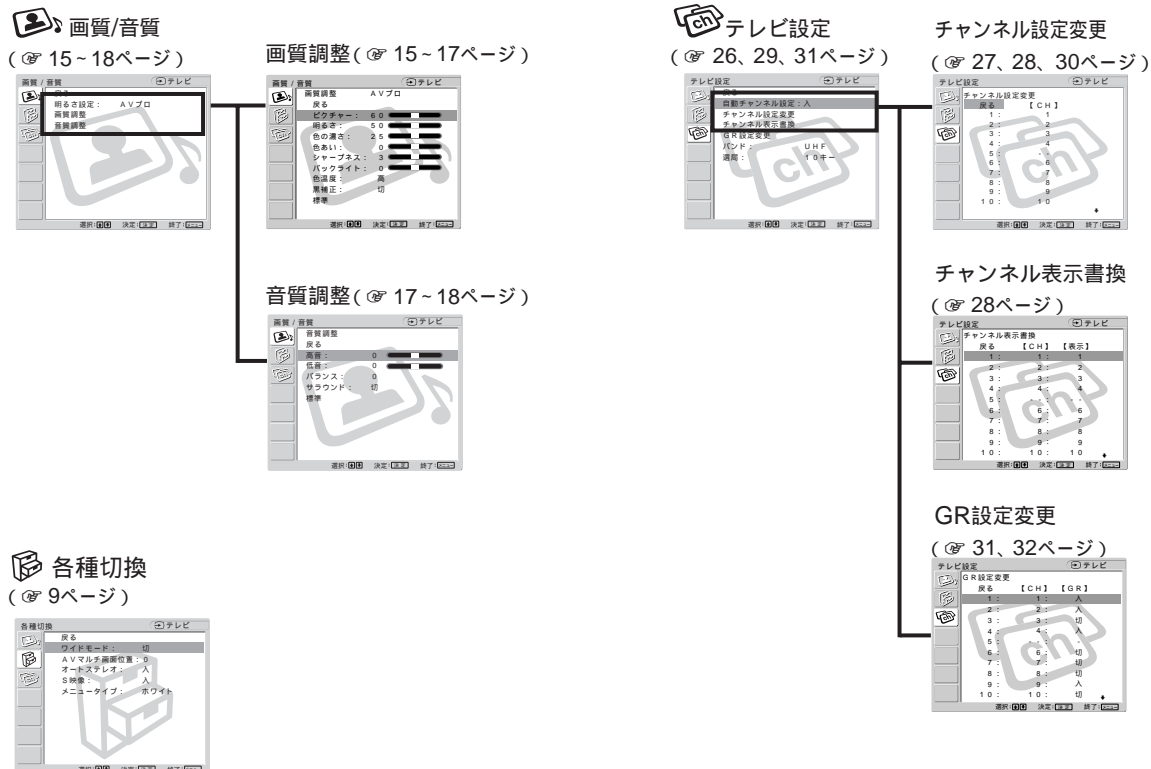
次のページにつづく

リモコン/Remote Control

ちょっと一言

* 二重音声ボタンとチャンネル数字の「5」ボタンおよびチャンネル+ボタンには、凸点（突起）が付いています。操作の目印として、お使いください。

メニュー一覧

「各種切換」の「メニュータイプ」でメニュー画面の背景色を切り換えられます。メニュー画面には「ホワイト」と「ブラック」があります。

(☞ 9ページ)

- メニューはリモコンのメニューボタンを押すと表示され、↑/↓/←/→で選び、決定ボタンまたは→で決定します。ただし、→で決定できないメニューもありますのでご注意ください。
- 黄色で表示される部分が選ばれています。
- 薄く表示される部分は選べません。

索引

五十音順

あ行

か行

さ行

た行

な行

は行

ま行

ら行

わ行

数字・アルファベット順

数字

アルファベット

接続端子

☞のページに詳しい説明があります。

1 **ヘッドホン端子**

2 VHF/UHF**アンテナ端子**
(☞22ページ)

3 **ビデオ**1、2**入力端子（**S1**映像/映像/音声）**
（ビデオID-1**システム）**
(☞36～39、41、42ページ)

4 AV**マルチ入力（ゲーム）端子**
(☞40ページ)

5 **コンポーネント**1、2**入力端子（**D2**映像/音声）**
(☞37、38、42ページ)

6 AC**入力**100V**端子**
(☞24ページ)

商品の修理、お取扱い方法、お買物相談などの問い合わせ

ホームページ ● http://www.sony.co.jp/SonyDrive/

「ソニードライブ」は、ソニーの商品情報とライフスタイルをご提案するホームページです。
「良くあるご質問」「修理情報」「ショッピング情報」は、ホームページをご活用ください。

お客様ご相談センター

● ナビダイヤル*…………………… 0570-00-3311
（全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます）

● 携帯電話・PHSでのご利用は*……… 03-5448-3311
（ナビダイヤルがご利用できない場合はこちらをご利用ください）

● FAX………………………………… 0466-31-2595

受付時間：月～金曜日 9:00～20:00　土・日・祝日 9:00～17:00

*お電話は自動音声応答にてお受けし，内容に応じて専門の相談員が対応します。
はじめにご用件を下記より、次に音声案内にそって商品カテゴリーの番号を押してください。
選択番号は変更になることがありますので、ご容赦願います。

1：修理受付
2：使用方法や故障と思われるご相談
3：お買物相談
4：業務用・プロ用商品に関するご相談全般
5：その他のご相談

ソニー株式会社　〒141-0001　東京都品川区北品川 6-7-35

この説明書は100%古紙再生紙とVOC
（揮発性有機化合物）ゼロ植物油型インキ
を使用しています。

Printed in Japan